

DEW  
stream 2007

Planning, Design, and Consulting  
SHIMIZU CORPORATION

vol.67

KUDAN COMMON GOVERNMENT OFFICE BUILDING No.3 CHIYODA CITY OFFICE MAIN BUILDING	02-03
TOKYO KENSETSU CONSULTANTS HEAD OFFICE	04-05
CATS THEATRE	06-07
FUNKAWAN PANORAMA PARK PANORAMA KAN	08-09
HOKURYOU BEKKAN	10-11
HOTEL UNIVERSAL PORT	12-13
HYATT REGENCY YOGYAKARTA	14-15
KUJIRA HOSPITAL	16-17
MARUHON	18-19
MITA AVANTI	20-21
NIGAWA GAKUIN PROPOSAL	22-23
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY SHIN-SENZANKAN	24-25
OHARA INC. HEAD OFFICE	26-27
PARAMOUNT BED TECHNICAL CENTER	28-29
PREMIER GARDEN HONGOH	30-31
RUELLE AOYAMA	32-33
YAMANASHIKUIN SYDNEY MEMORIAL SWIMMING POOL STRUCTURE COMMENT	34-35
TOKYO KENSETSU CONSULTANTS HEAD OFFICE STRUCTURE COMMENT	36
PARAMOUNT BED TECHNICAL CENTER STRUCTURE COMMENT	37
TAKUBO TOGANE TECHNICAL CENTER	38-39
TAMA REGIONAL MEDICAL CENTER PFI PROJECT	40-41
TOYOTA AUTO BODY NEW LABORATORY	42-43
TSUNAMACHI MITSUI CLUB RENOVATION PROJECT	44-45
WORLD CITY TOWERS	46-47
DATA OF WORKS	48-49
EDIT MEMBER	49

# DEW

stream 2007

## 特集：近作プロジェクト

vol.67

九段第3合同庁舎・千代田区役所本庁舎	02 - 03
東京建設コンサルタント本社ビル	04 - 05
キャッツシアター	06 - 07
噴火湾パノラマパーク パノラマ館	08 - 09
北稜別館	10 - 11
ホテル ユニバーサルポート	12 - 13
ハイアットリージェンシー・ヨゴジカルタ	14 - 15
くじらホスピタル	16 - 17
マルホン	18 - 19
三田Avanti	20 - 21
学校法人仁川学院 50周年記念学院施設整備計画	22 - 23
日本女子大学 新泉山館	24 - 25
株式会社オハラ本社棟	26 - 27
パラマウントベッド テクニカルセンター	28 - 29
プレミアガーデン本郷	30 - 31
RUELLE青山	32 - 33
山梨学院シドニー記念水泳場(構造)	34 - 35
東京建設コンサルタント本社ビル(構造)	36
パラマウントベッド テクニカルセンター(構造)	37
タクボエンジニアリング株式会社 東金テクニカルセンター	38 - 39
多摩広域基幹病院(仮称)及び小児総合医療センター(仮称)PFI事業	40 - 41
トヨタ車体株式会社 実験場 増設工事	42 - 43
綱町三井俱楽部 耐震・美観改修	44 - 45
ワールドシティタワーズ	46 - 47
作品データ	48 - 49
編集委員一覧	49



セキュリティを重視する国の合同庁舎と区民に開放された行政を目指す千代田区役所の先進的合築である。建築の構成は、高層部を合同庁舎、中間部分を共用の厚生施設、低層部を千代田区役所、エントランスホールと前面空地をつなぐ3層吹抜けの空間をガレリアとした。このガレリアは、2・3階に配置した千代田区総合窓口の正面に位置し、エスカレーター等の動線の来訪者にとってのわかりやすさと、来庁者の交流・憩いの場を生む。さらには公益的内部空間のアクティビティが、ガレリアを通じて閉ざされること無く内堀通りへ横溢し、清水門、清水濠に臨み、歴史と風土に想いを巡らせる機微にあふれる都市空間へと連続することとなる。

外装はモチーフを伝統的な縦格子に求め、開放性／閉鎖性の制御をそのピッチの変化によって行った。この手法により、内部機能の性格の違いが表現されると同時に、合築を感じさせない全体性を有し、皇居に近接する建築のもつべきたたずまいとした。

河本 洋一



## KUDAN COMMON GOVERNMENT OFFICE BUILDING No.3 CHIYODA CITY OFFICE MAIN BUILDING

### 九段第3合同庁舎・千代田区役所本庁舎

セキュリティを重視する国の合同庁舎と区民に開放された行政を目指す千代田区役所の先進的合築である。

建築の構成は、高層部を合同庁舎、中間部分を共用の厚生施設、低層部を千代田区役所、エントランスホールと前面空地をつなぐ3層吹抜けの空間をガレリアとした。

このガレリアは、2・3階に配置した千代田区総合窓口の正面に位置し、エスカレーター等の動線の来訪者にとってのわかりやすさと、来庁者の交流・憩いの場を生む。さらには公益的内部空間のアクティビティが、ガレリアを通じて閉ざされること無く内堀通りへ横溢し、清水門、清水濠に臨み、歴史と風土に想いを巡らせる機微にあふれる都市空間へと連続することとなる。

外装はモチーフを伝統的な縦格子に求め、開放性／閉鎖性の制御をそのピッチの変化によって行った。この手法により、内部機能の性格の違いが表現されると同時に、合築を感じさせない全体性を有し、皇居に近接する建築のもつべきたたずまいとした。

04  
vol.67

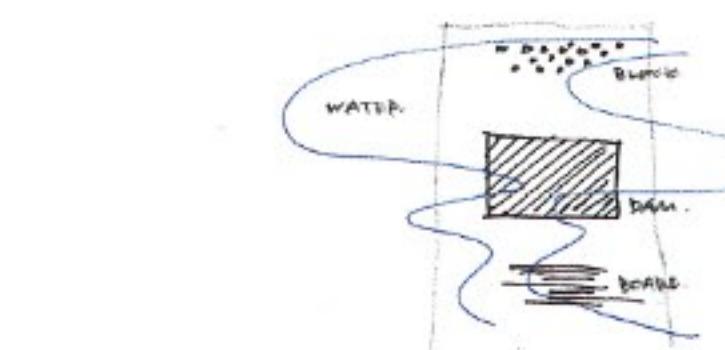
TOKYO KENSETSU CONSULTANTS  
HEAD OFFICE  
東京建設コンサルタント本社ビル

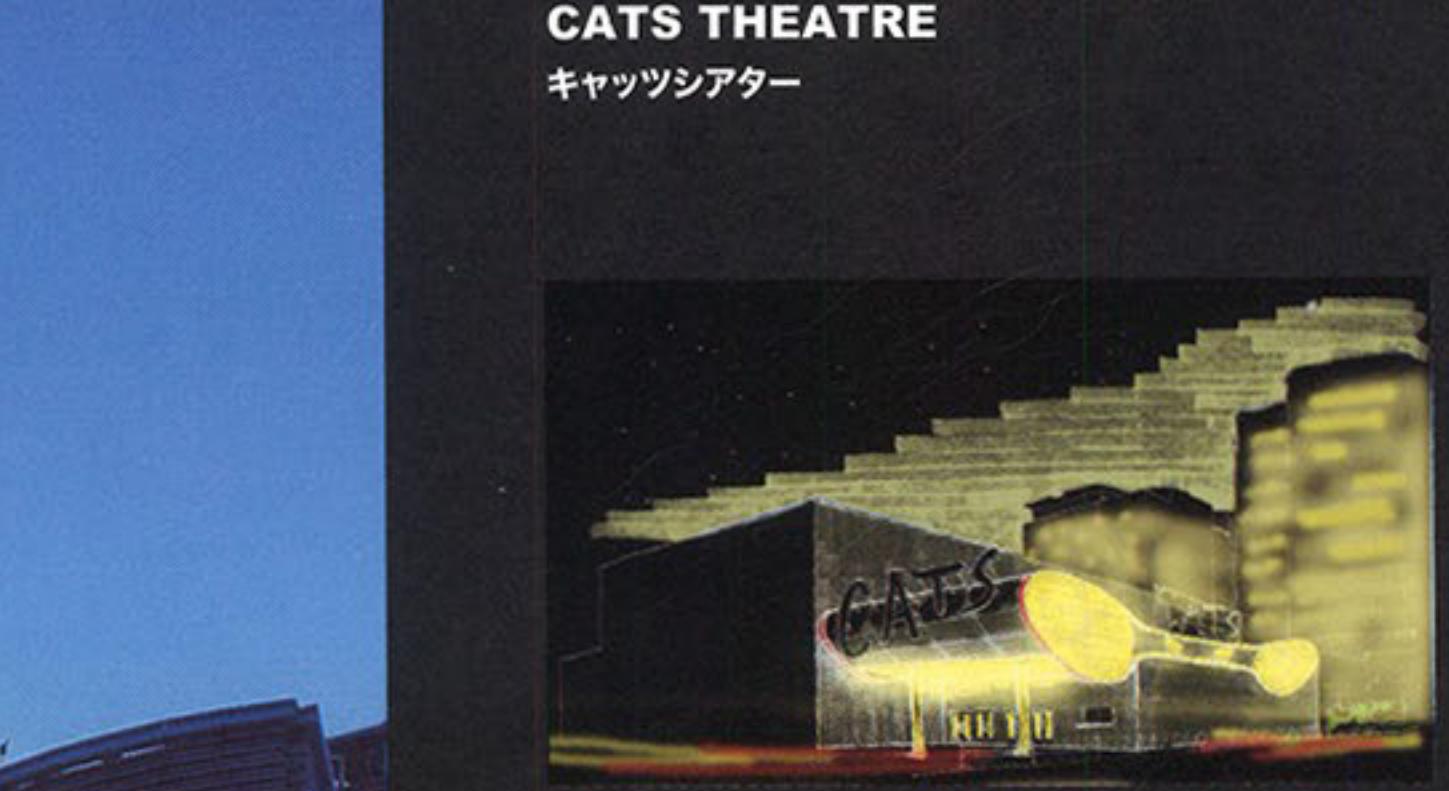
05  
vol.67

土木の風景を求め旅した天竜川流域には、数列を思わせる秩序と無垢な材質感をもつ土木構造物が非対称かつ不均一な自然と均衡する様があった。それを建築に置き換え、土木設計コンサルタントの企業アイデンティティーとした。

ダム湖の水面に見立てた砂利敷きの外構の上にコンクリートの量塊を据え、その土台が12台の免震装置を介し上部6層の構造体を支えている。免震上部は建物外周のPCa版、コアウォール、格子状プレストレス梁で構成し、室内側に柱型が全くない完全無柱空間とした。PCa版に組み込まれたコンクリートパネルは応力分布により配置を決定した。パネル部に不均一に穿った小窓は、室内側の圧迫感や緊張感をやわらげ、オフィスの中での自分の「居場所」を与えていた。

国立 篠志





CATS THEATRE  
キャッツシアター

記録的なロングランを更新し続けるミュージカルのための専用劇場。演目のもつ文学性は永遠であり、一方、公演というものがもつ身体性と時間は、2度として同じことは無い。かくして設計上のテーマは、永続性と非再現性の二重のレシピに宿る。解体を前提とするこの仮設建築は、建築を電飾で覆い、他の部分を夜の黒色とし、光のみがその存在の形式を現すものとした。そして仕組みと表出という道具仕立てを省き、演目そのもののイコンを巨大化し、ダイレクトに大屋根のデザインとした。

ニューヨークのブロードウェイでは、看板が建築そのものである。東京の繁華街も同じとさえ言える。その光芒の偉さと瞬間の輝きに、都市と人生の真実が宿っている。

稻毛 誠

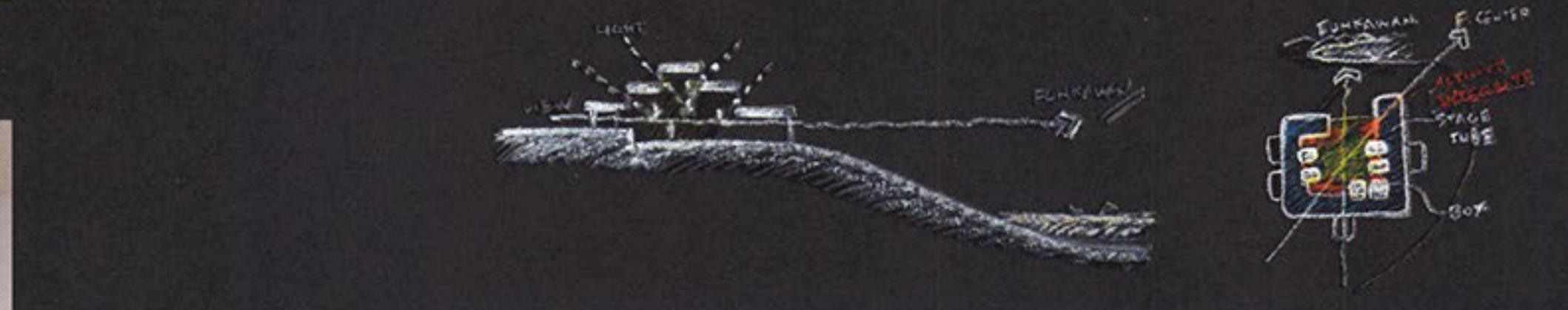


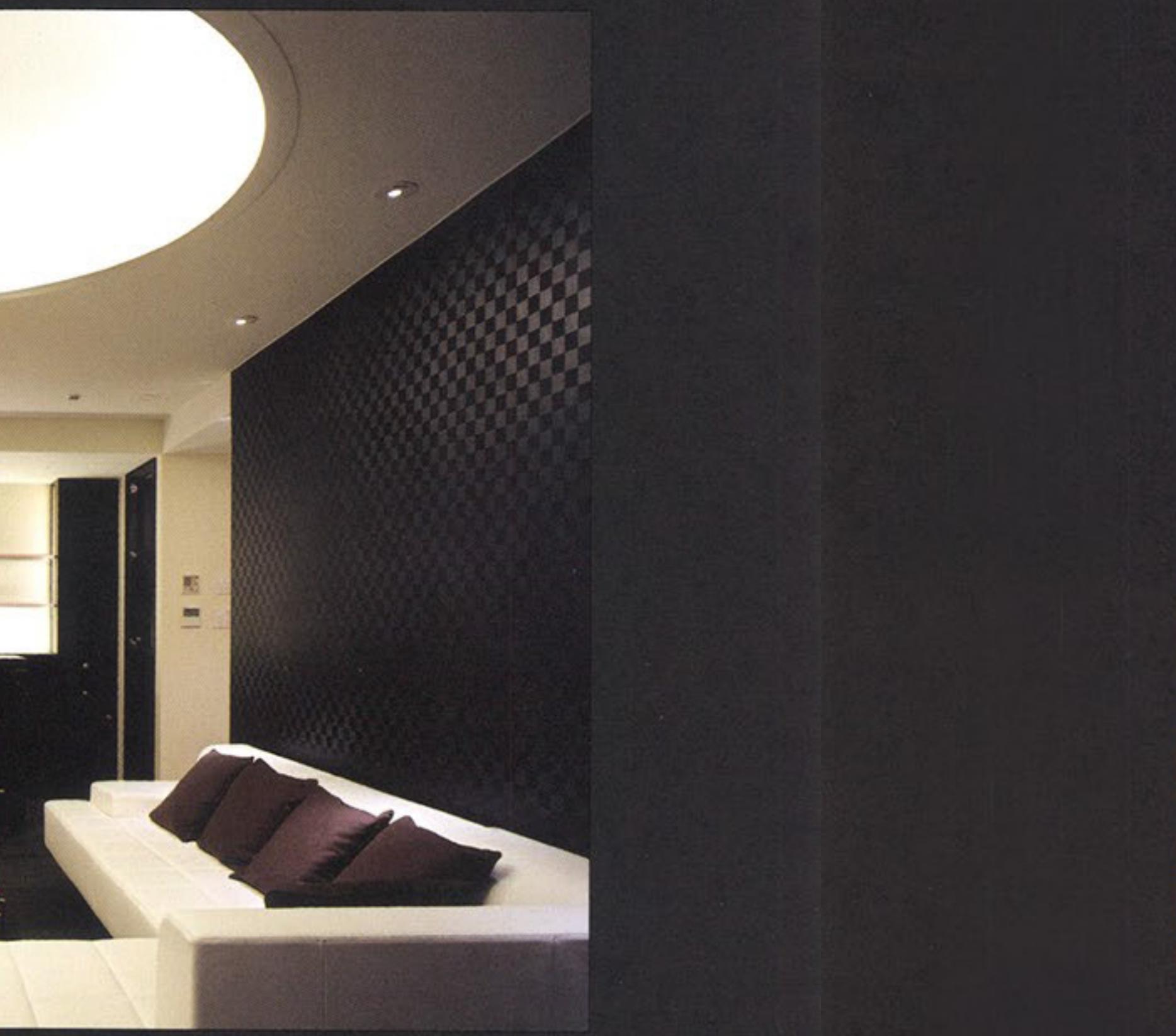
## FUNKAWAN PANORAMA PARK PANORAMA KAN

噴火湾パノラマパーク パノラマ館

敷地は高台にあり、北方の噴火湾や周辺山々を望む素晴らしい風景を堪能できる。建築内・外部から風景との「つながり」をもつと同時に、遊び・休憩・食事・情報収集・研修等各々のアクティビティが固有な目的を達成するだけでなく、他機能との融合によって多様性を獲得し、生き生きとした空間を持続したいと考えた。要求水準にある「室」は、各アクティビティの「場」ととらえ、空間に視覚的な透明感と、音を共有する許容性をもたせながらゆるやかに各々の場をつくる構成を目指した。最も空間ボリュームのある多目的体育館(子供たちのフレイスペース)は床レベルを下げて中央に据え、展示コーナーレストラン等他機能を子供達を観覧するような「ステージ」として回廊状に周囲を取り巻き、コアをおさめた「ボックス」を散りばめることで、ゆるやかに場を分けた。ボックスには他、立体迷路等をおさめ、空中を飛ぶブリッジ等、建築と一体化した遊びのシークエンスのアイディアを加え、生き生きとしたアクティビティをさらに誘発したいと考えた。体育館を抱擁することで、館内の至るところで子供たちの息吹と風景を感じることができる。

今井 宏





柴山潟を望む高台に立地する新聞社のゲストハウス。北陸を代表する企業イメージと賓客をもてなす空間を目指している。

建物は、主空間となるイベントホール、ゲストのための娯楽室・宿泊室、豊富に湧き出る温泉により構成した。

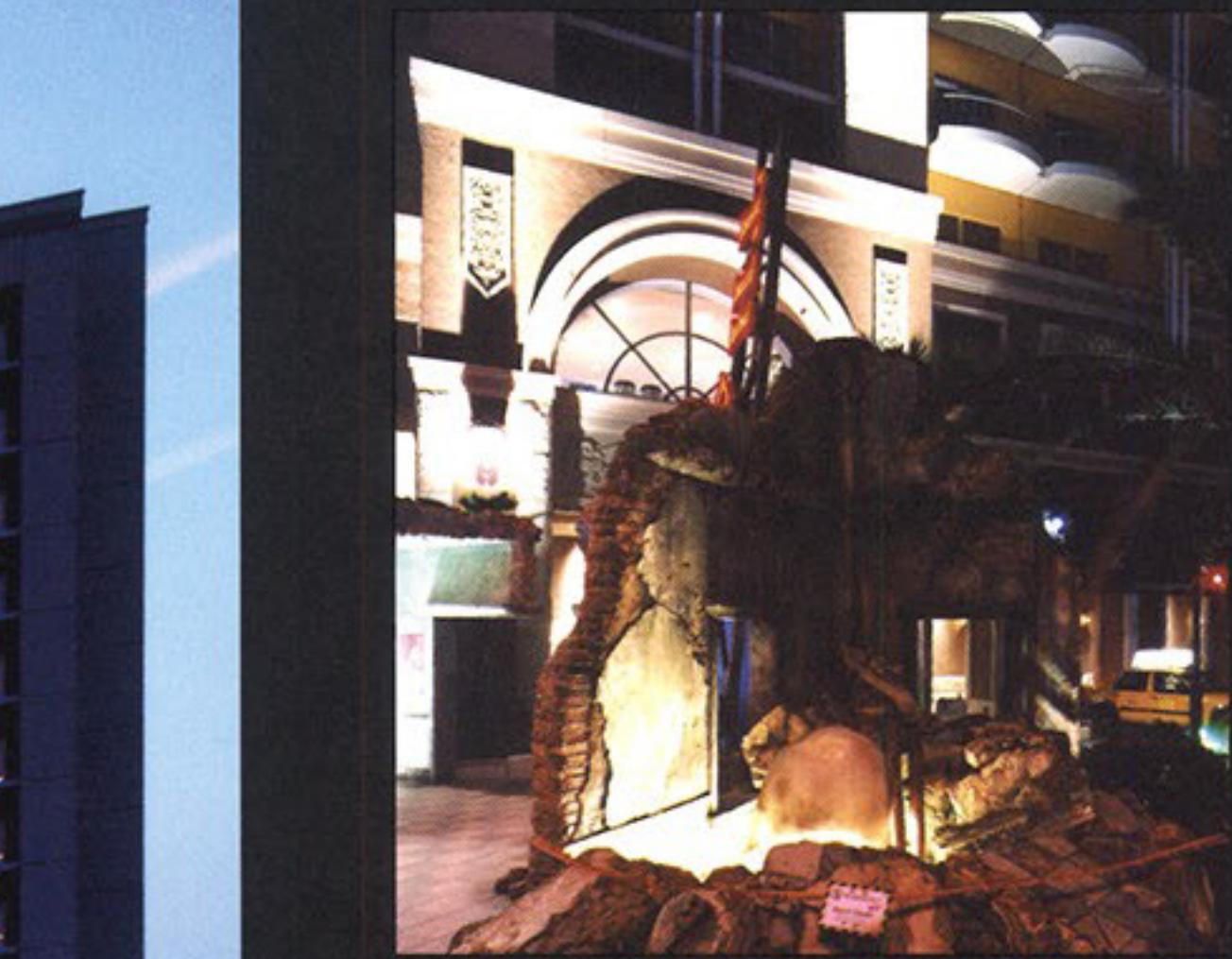
特にクリスタルホールと名付けたこの建物を象徴する空間は、ミニコンサート等で地域のコミュニティに開放され、企業の社会貢献の場となっている。そのデザインは、様々な素材の質感や形態を北国の結晶というモチーフで統一している。

西出 智春



HOKURYOU BEKKAN  
北陵別館

**HOTEL UNIVERSAL PORT**  
ホテル ユニバーサルポート



アプローチに転がる動く恐竜の卵、川辺の景観を生かし豪華客船のターミナルをイメージしたロビー、水の中を揺らめくようなエレベーター、ファミリーからカップルまでニーズに応えた客室・・・。  
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）に隣接するこの“ホテル ユニバーサルポート”は、テーマパークのもつエンターテイメント性をホテルの内外に散りばめた、都市型リゾートホテルである。人々の非日常的高揚をいかに維持し続けるかは、このような商業施設の根本的な経営戦略であり、そのような建築においては、USJへのワクワク、ドキドキする予感と余韻を生み、都市における幻想的な「リゾート」世界を生むために、全てのデザインがある。

加藤 栄一郎



**HYATT REGENCY YOGYAKARTA**  
ハイアットリージェンシー・ジョグジャカルタ



世界遺産であるボロブドゥールなどの遺跡の宝庫であるインドネシア・ジョグジャカルタ郊外に計画した269室のリゾートホテルである。

夜明け直後、遺跡が朝靄の中にゆっくりと浮かび上がる偉容。  
そのシルエットをモチーフとし、数々の遺跡の1000年を経た彫石に籠められた魂に想いをはせ、地域の歴史と精神を盛り込むとともに、ジョグジャカルタ王宮の構成も参照した。

陽が昇るにつれ身にしみる赤道直下の熱さ。  
気だるいガムランの音。  
メラピ火山が歓迎の狼煙を上げる借景。  
水辺に散りばめたジャワのディテール。  
これらの中をゆったりと流れる時間が、旅人を1000年のまどろみへと誘う。

黒田 和彦

**KUJIRA HOSPITAL**  
くじらホスピタル



16  
vol.67



16  
vol.67



16  
vol.67



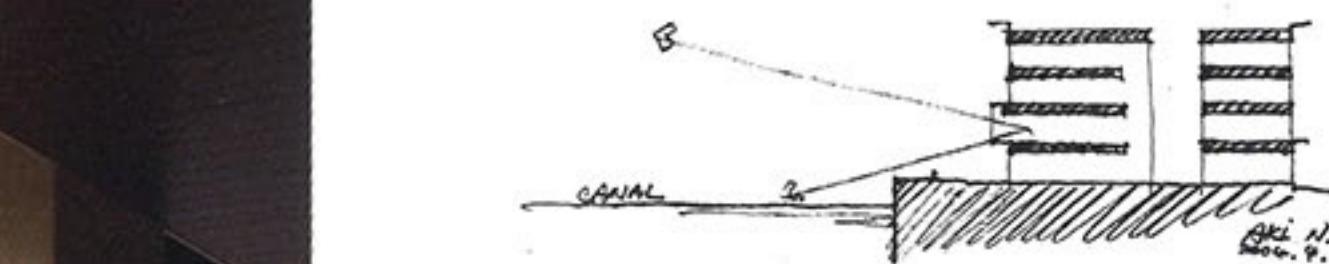
17  
vol.67

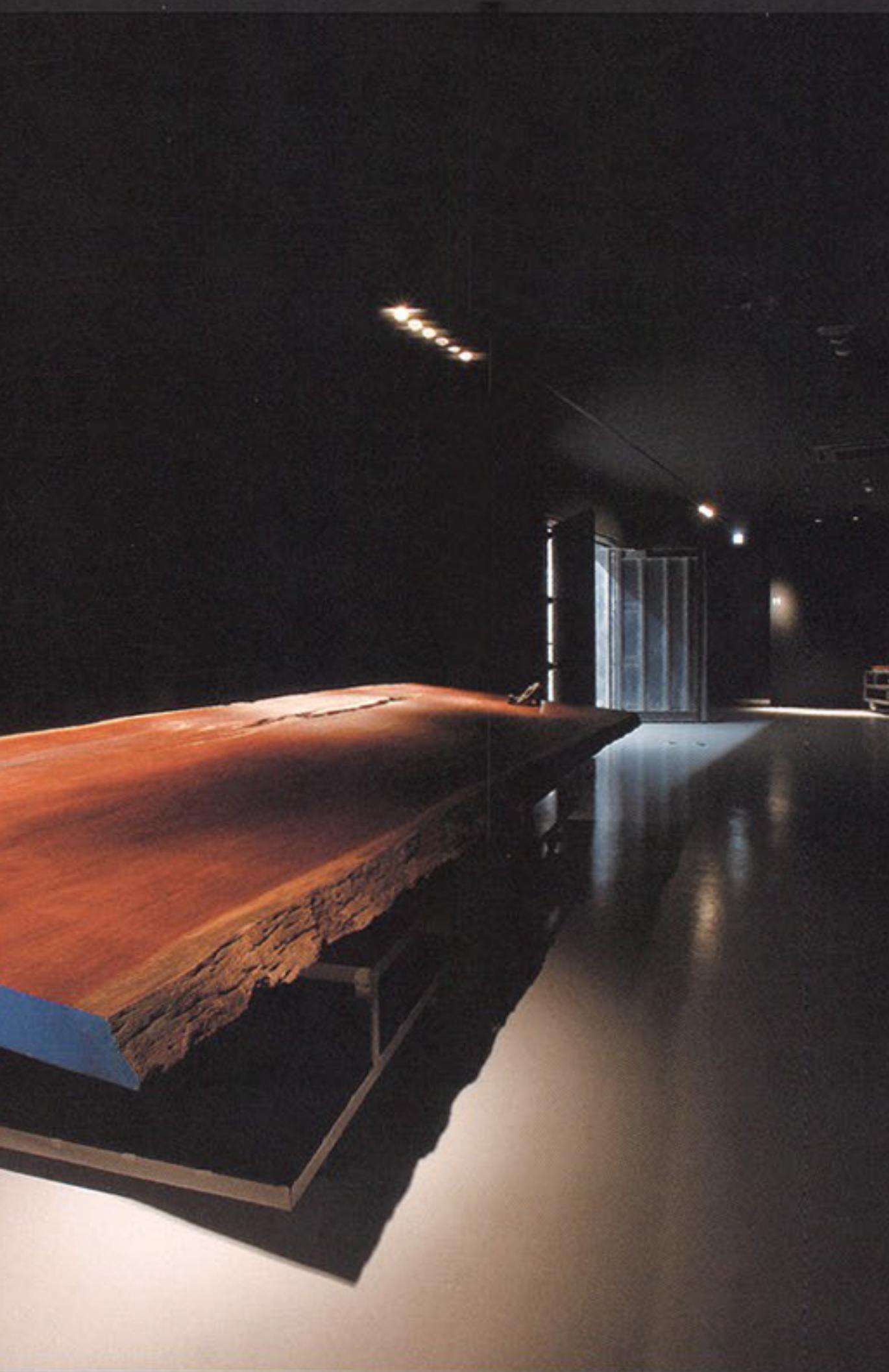
くじらホスピタルは、ストレス社会の中で適応障害やうつ状態をきたした方、家庭内の暴力や虐待で苦しんでいる方に、適切な医療と療養環境を提供するため新たに開設された心療内科の専門病院である。

デザインのテーマは「水辺の休息空間」。眼下を流れる運河の魅力を生かし、病院建築の既成概念にとらわれることなく、患者が安心して真に休息できる空間を創り出すことを目指した。2階の南東面を運河側にはね出し、あたかも水に浮かんでいるように感じる空間を創り出した。海に出て行く船の様子、風にゆれる水面、水に反射して天井をゆらゆらする光・・・何をするでもなく一日中運河を眺めて過ごすことも回復の助けになるのではないか、と考えた。また、待合にはゆったりとしたソファを置き中央のパティオには植栽をうっそうと配し寝椅子で「休息空間」を演出している。サインやアートにより、透明な水の色で建物全体の統一したイメージを確立し、空間にうるおいをもたらした。

第40回SDA賞入選

中江川 亜紀

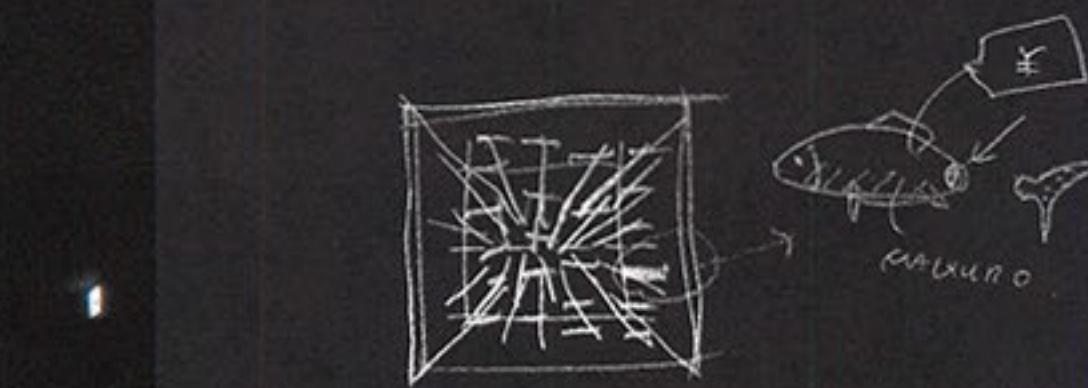




国内外とのダイレクトネットワークを活かし、  
無垢材を提供するマルホン本社ショールーム。

自分だけのものに出会うため  
840m<sup>2</sup>のショールームを訪れる人達。  
目の届く範囲を超える木の中を  
どんどん動きまわる。  
自ら探し、手に取り、並べて、試す、  
「探す」という行為と  
その過程で生じるコミュニケーションが  
新たな発見や創造力を生み出す。

志村 美治





20

vol.67



21

vol.67



21

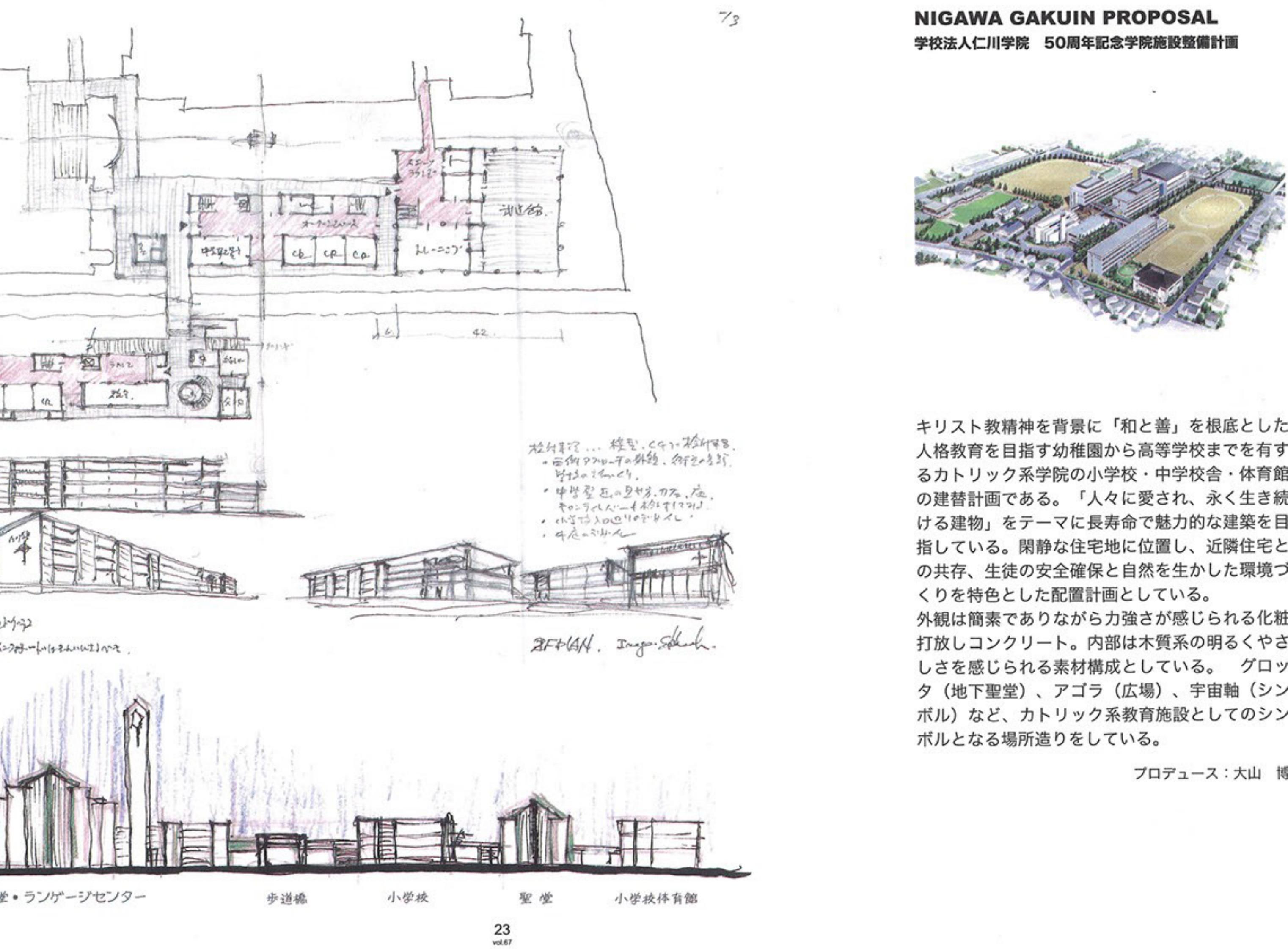
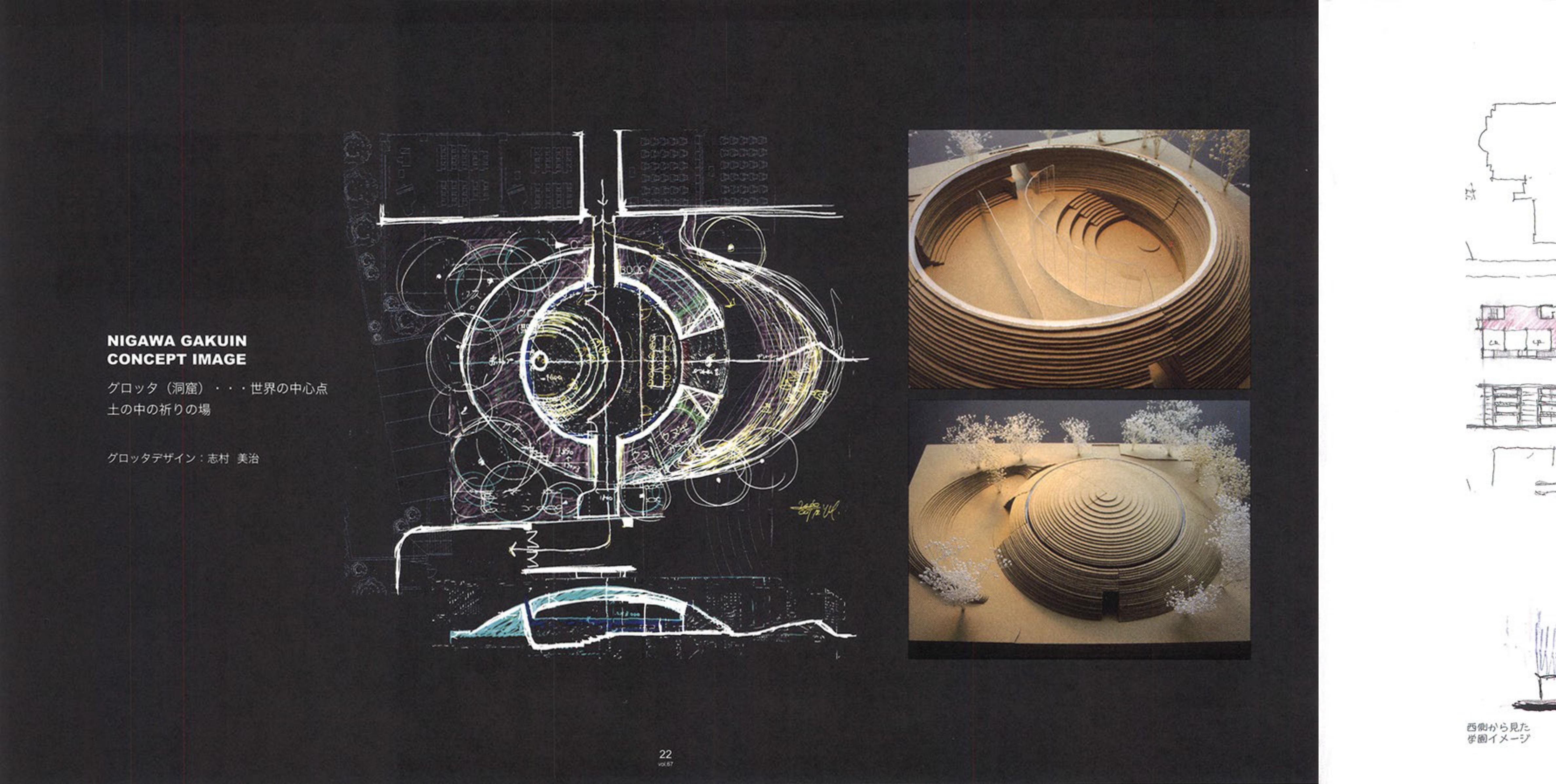
vol.67

**MITA AVANTI**  
三田Avanti



収益面積の大きさに応じて工事費を算出するという、第一生命のこれまでにない取組みに対応して84%という究極のレンタブル比を獲得したオフィスである。外壁率の低い立方体形状と、仕切り自由度の高いカーテンウォールモジュール・設備モジュールを有する平面計画を追及した。ファサードはモダンな3層構成とし、基壇は列柱胴部は日射低減を図った150mmの見込みの外部フィンと透明系反射ガラスのミニマムなカーテンウォール、頂部はテナントロゴの配される彫りのある冠パネルとした。賃貸ビルのプロトタイプとしてのシンプルで率直な計画により、オーナーの持つ三田の敷地へのこだわりに応えた。

河島 淳



24  
vol.6725  
vol.67

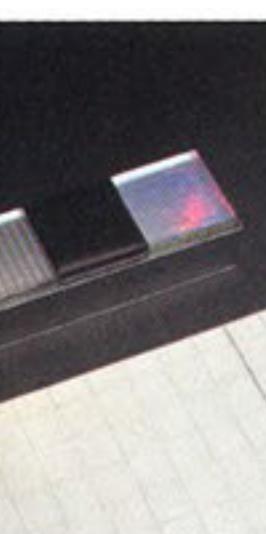
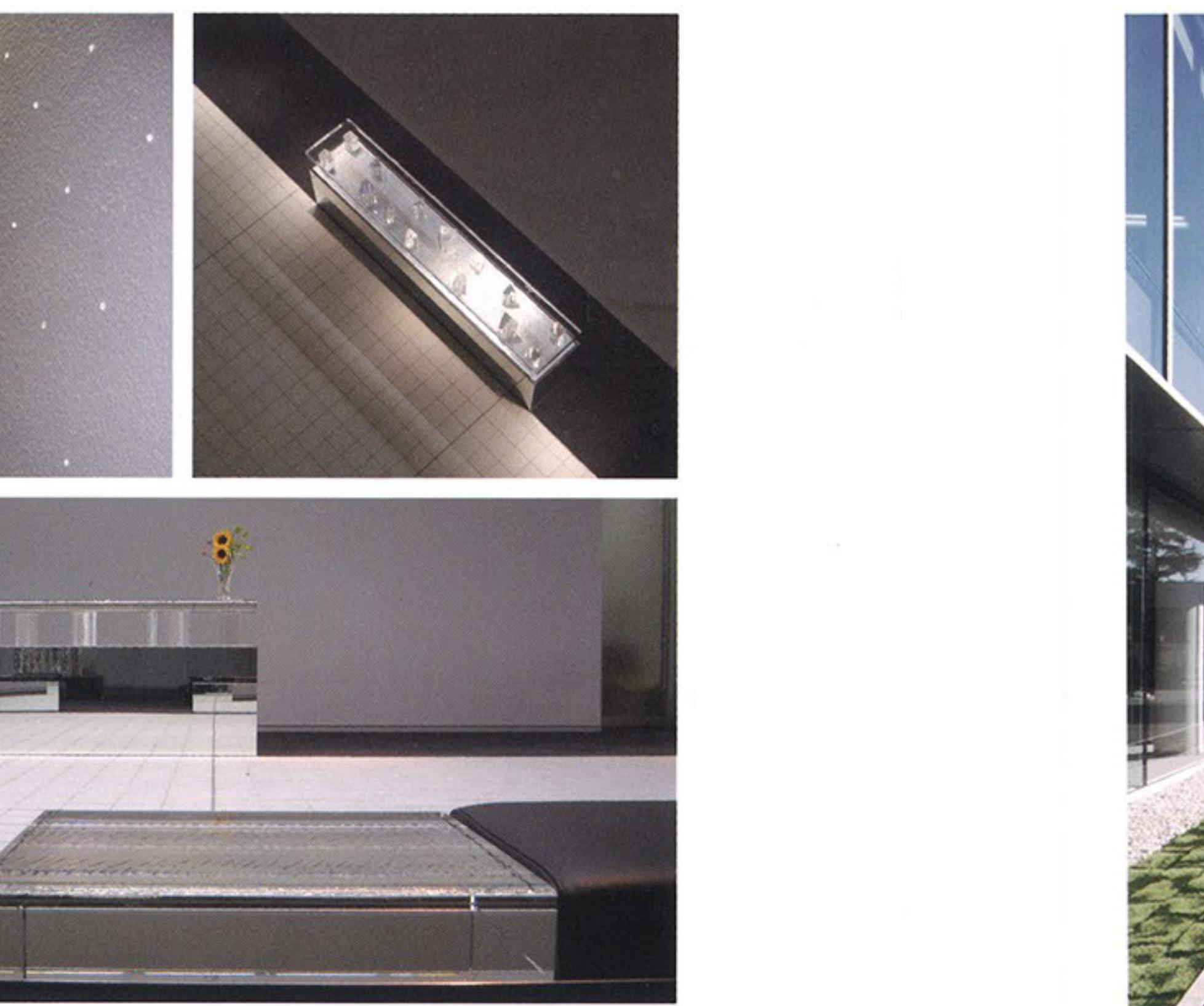
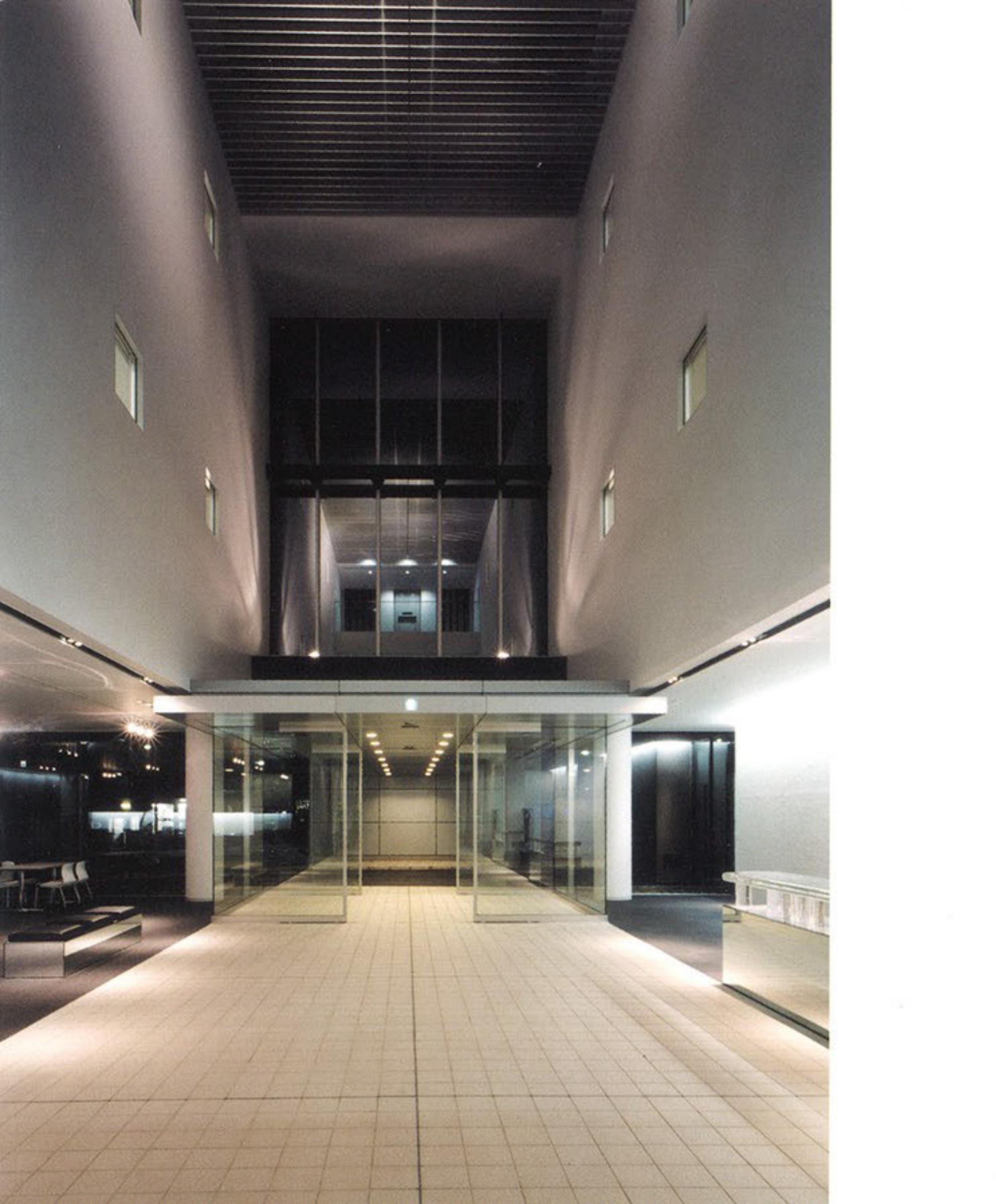
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY  
SHIN-SENZANKAN  
日本女子大学 新泉山館



日本女子大学の100周年事業として完成した百年館と差し替えに解体された泉山館を記念し、目白・西生田両キャンパスで行われてきた研究交流を展開するための多彩な空間を盛り込んだ施設である。目白通りに面してキャンパスの軸に正対するこの建築には、緑豊かな高台である目白台の環境と内部に設けた屋上庭園との空間的な連続性と、目白キャンパスの建築群の持つ静寧な建築との連続性を意識したファサードのたたずまいをもたせている。

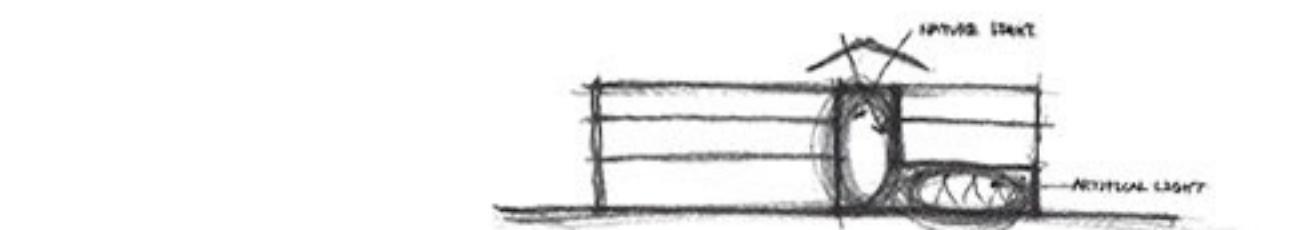
シンメトリの中心に配したエントランスの高さ9.35mのガラススクリーンは、吊構造が軸力を低減し、かつ風除室の自立ガラスとアルミハニカムパネルの箱構造が面外風荷重を負担することによるガラス部材の低減を図ったものである。吹抜けを涉るブリッジは、振れ止めにタイロッドを使用して成を450mmに納めたものである。これらは多くのエンジニアとのコンカレントな協働により達成できた現代ならではの手法であるが、その表現は控えめであって、透明感のある空間での人々の交流こそが、あくまでも建築の主役であると考えている。

佐野 祐子

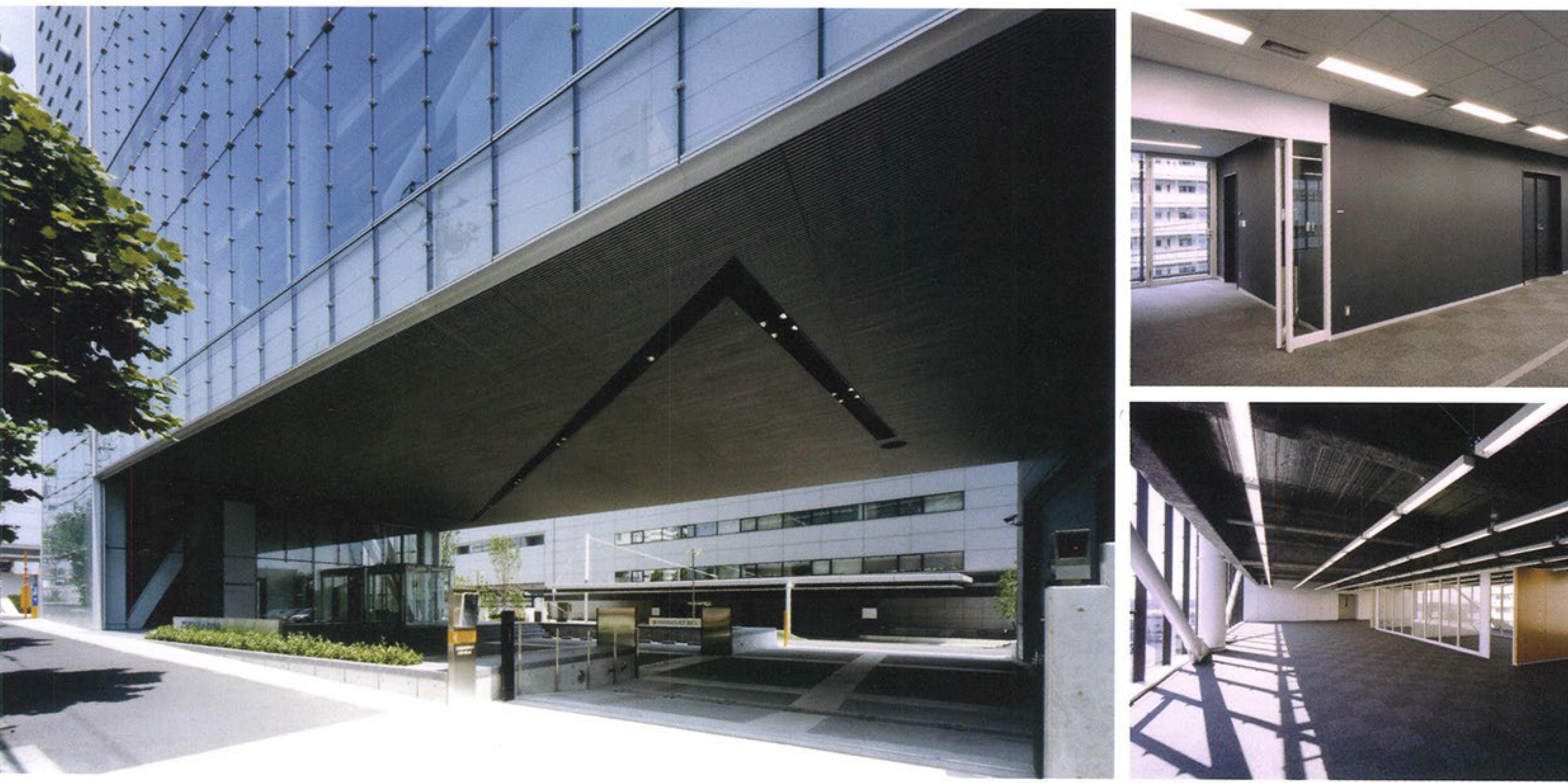


OHARA INC. HEAD OFFICE  
株式会社オハラ本社棟

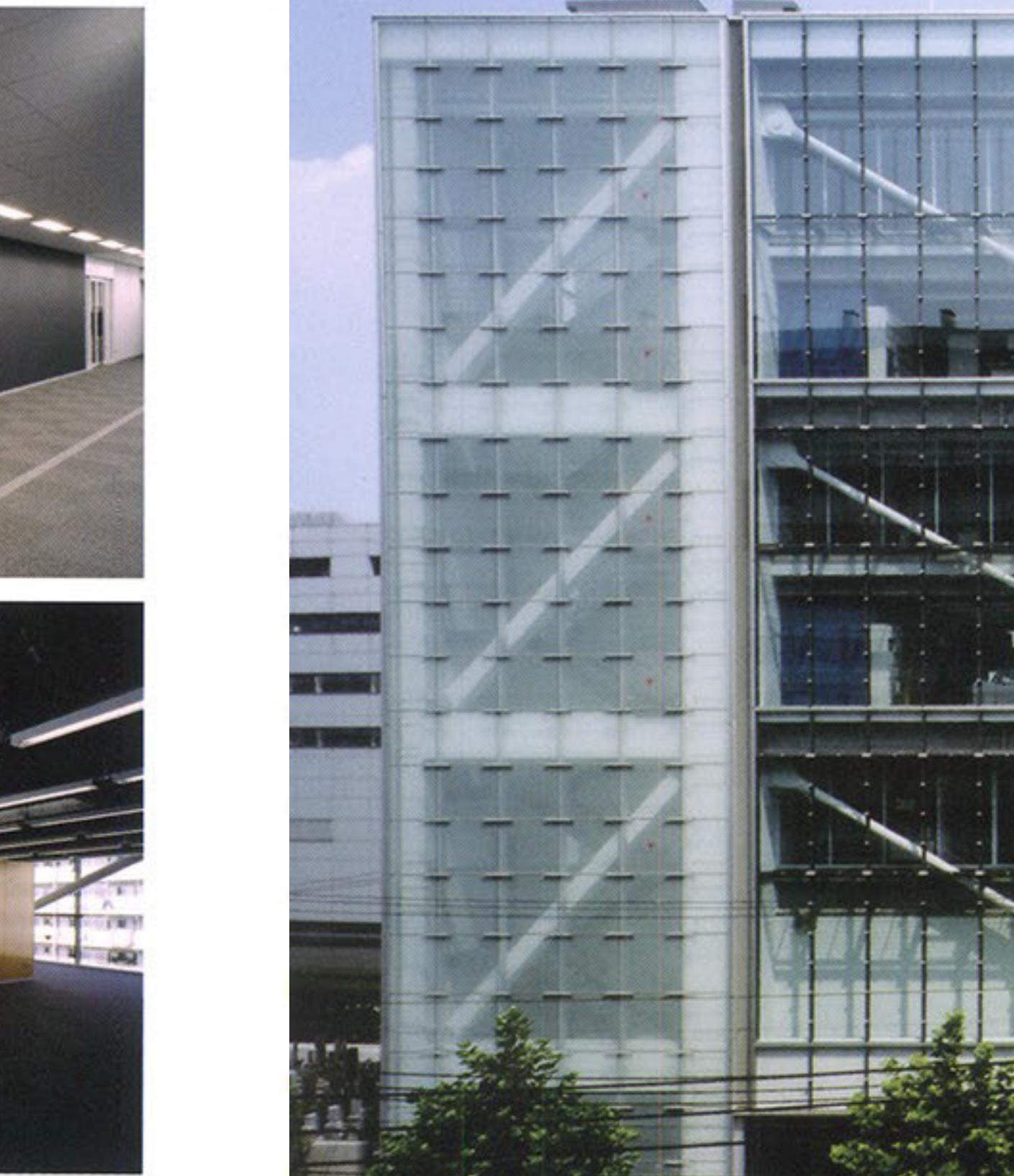
オハラは1935年に光学ガラスメーカーとして創業。現在では光学ガラスに加え、各種特殊ガラスの開発・製造を行っている。当施設は工場敷地内にある本社棟であり、その事務機能に加え、当工場にて製造される製品の展示機能も組み込んだ。展示にあたり、「ガラスと光」「ガラスと人」の二つの関係性を重視した。まず、ガラスと光。エントランスから展示空間までの水平・垂直方向の吹抜における、明/暗や自然/人工による多様な光源により、ガラス製品に様々な表情と素材感を与えた。次に、ガラスと人。ガラス展示品をベンチや壁面等に仕立てて建築的な機能をもつものとし、来訪者が自然な形でオハラのガラス製品に触れ合えるようにした。これらの工夫で真に表現したかったことは、単なるモノとしての展示品ではなく、オハラがガラス製品に注ぐ技術であり心の展示である。



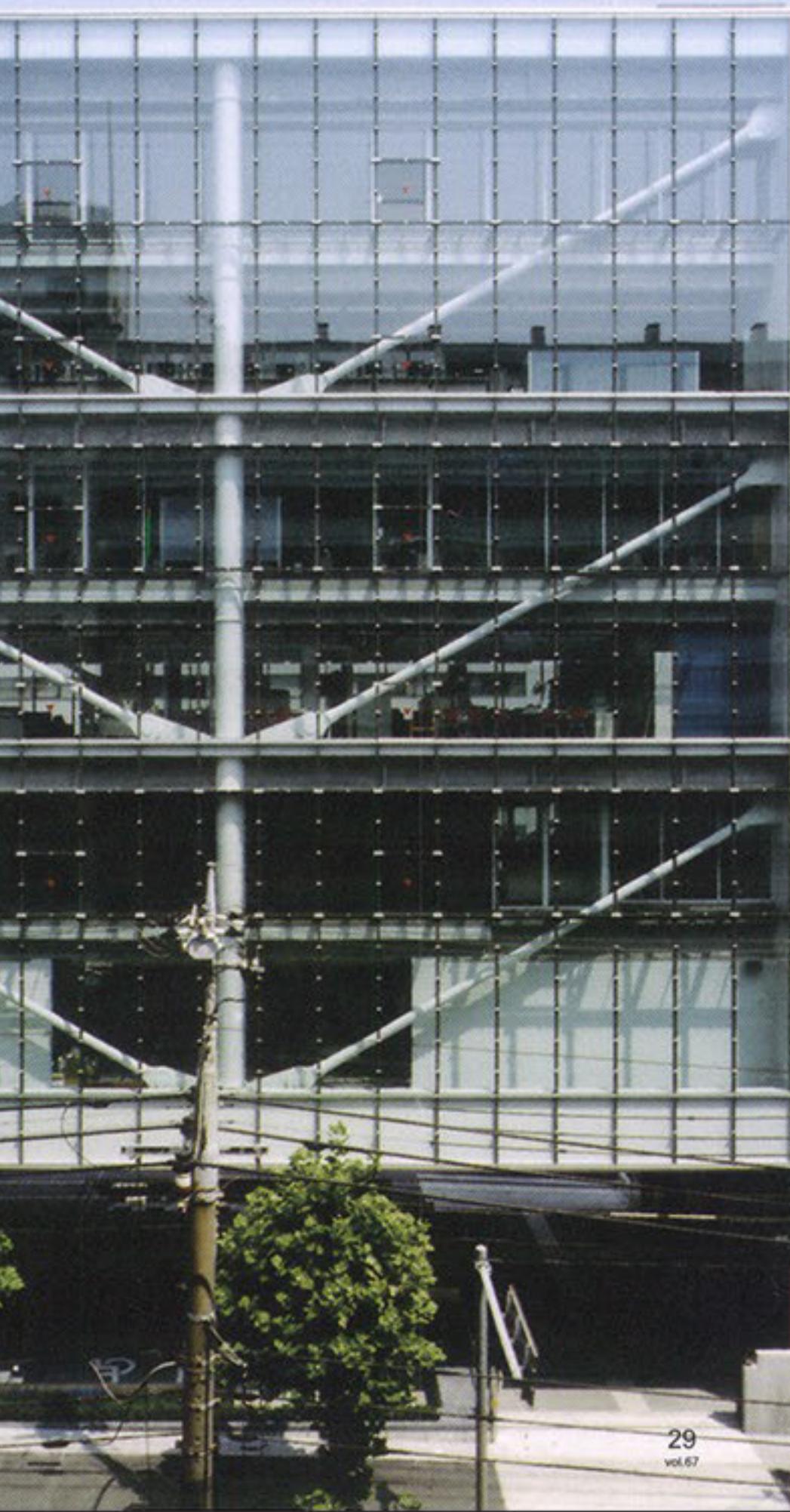
**PARAMOUNT BED  
TECHNICAL CENTER**  
パラマウントベッド テクニカルセンター



28  
vol.67



見角 基一郎

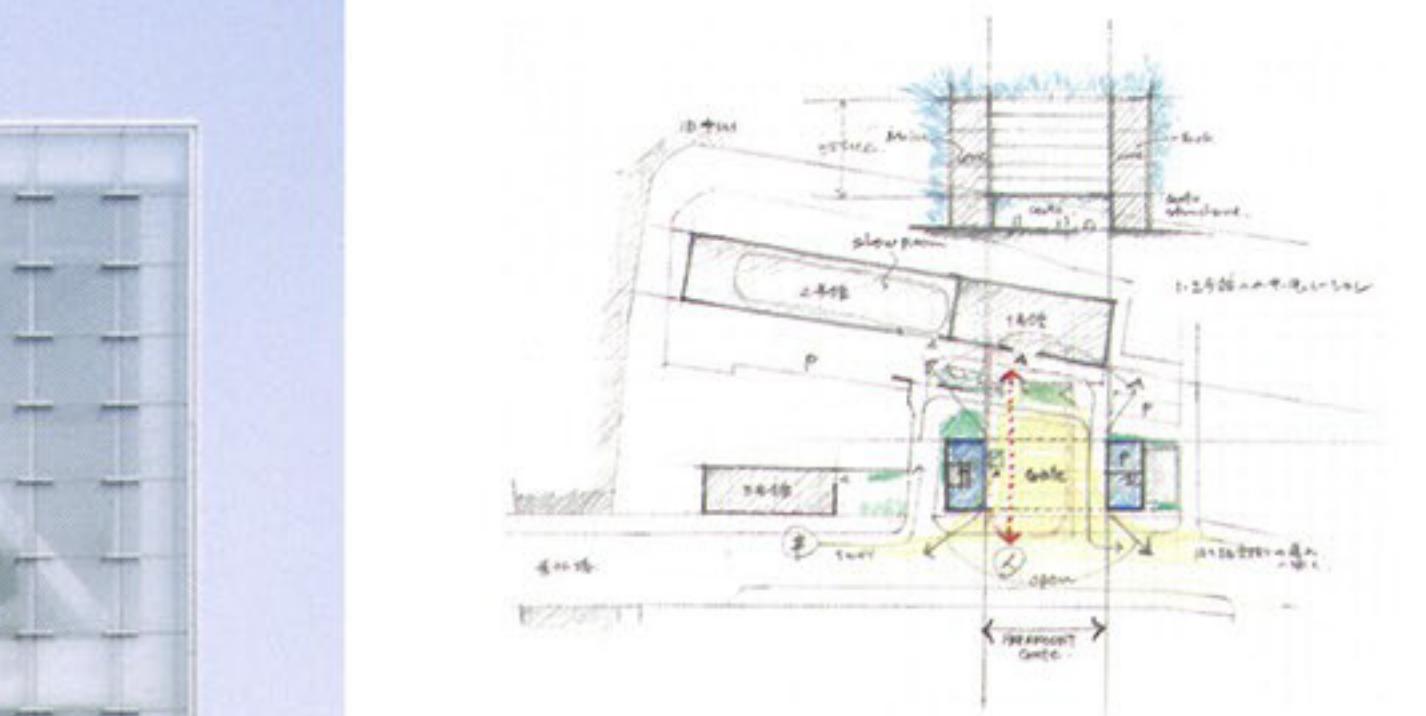


29  
vol.67

この建物は既存本社屋群の一画にあり、背後には本館が位置している。耐震要素でもある両端のコアで中央のオフィス部分を吊り上げ低層部に開放されたゲート状の空間を設けることで、前面の街路空間と本館前の空間を連続させ広がりと奥行きのある本社本館へのアプローチにふさわしい空間とした。

ゲートの上部は2本の柱と2層にわたるプレースで支えられた、2層を1ユニットとする空間を積層させた構成となっている。偶数階は、大きなワールームスペースであり、必要な小部屋は自立式パーティションで構成。奇数階は窓際をダブルスキンとして各種特殊実験等を行うクローズ空間の設置が可能な構成としている。テクニカルセンターで営まれる、「実験」と「解析」の反復というワークスタイルから、その行為が行われるフロアを交互に積層する構成を採用した。

見角 基一郎



30  
vol.67

既存の住宅街にマンションや小規模事業所が混在しながら高層化の進む、都心の住宅密集地に計画された全19戸のテラスハウスである。

建物は戸境壁と屋根スラブによる3層吹抜のフレームの中に、スキップフロアと変則スパンを立体的に組み込むことにより、スケルトンとしての吹抜、スラブ、大開口の自由な設定を可能とするシステムとしている。

街路と平行に連続する壁面と直交する開口部による構成は、現代住宅としてのプライバシーとセキュリティを確保しながらも、採光と通風を住空間にもたらし、同時に本郷という場所性に対し調和とともに新たな景観を生み出すことを意図している。

日本建築士会連合会会員作品展優秀賞  
文京区都市創造賞

**PREMIER GARDEN HONGO**  
プレミアガーデン本郷



既存の住宅街にマンションや小規模事業所が混在しながら高層化の進む、都心の住宅密集地に計画された全19戸のテラスハウスである。

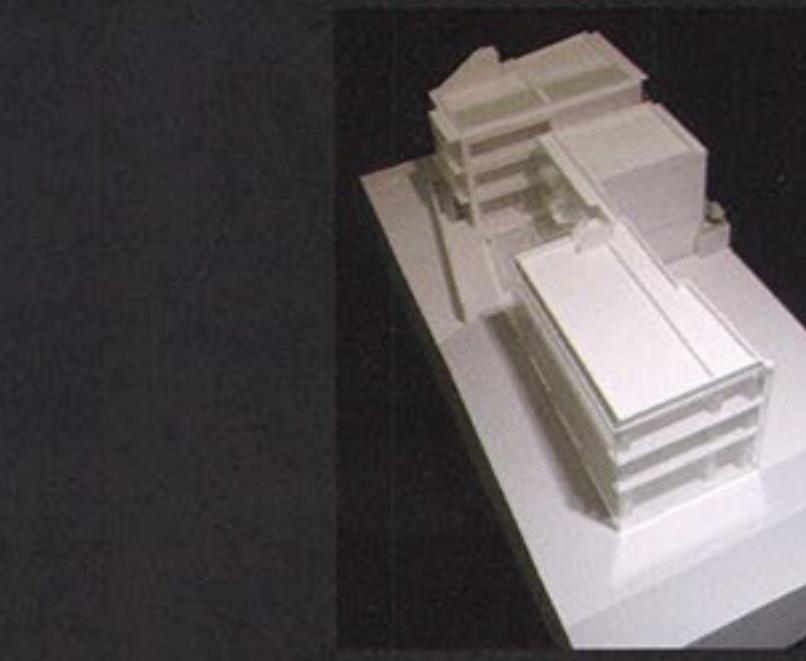
建物は戸境壁と屋根スラブによる3層吹抜のフレームの中に、スキップフロアと変則スパンを立体的に組み込むことにより、スケルトンとしての吹抜、スラブ、大開口の自由な設定を可能とするシステムとしている。

街路と平行に連続する壁面と直交する開口部による構成は、現代住宅としてのプライバシーとセキュリティを確保しながらも、採光と通風を住空間にもたらし、同時に本郷という場所性に対し調和とともに新たな景観を生み出すことを意図している。

日本建築士会連合会会員作品展優秀賞  
文京区都市創造賞

31  
vol.67

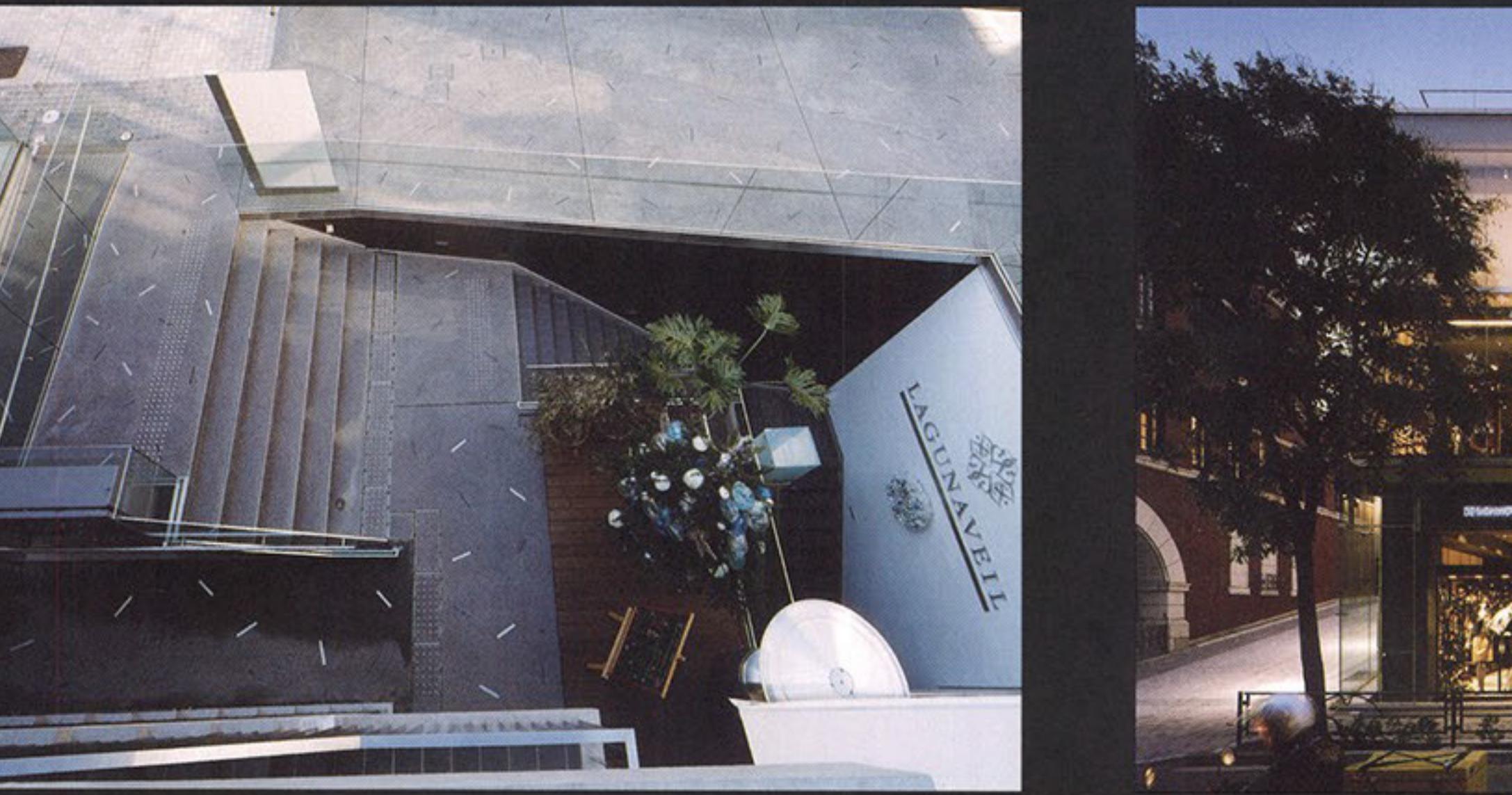
RUELLE AOYAMA  
RUELLE青山



敷地は表参道の交差点からみゆき通りを入ったところにある。本計画はRUelle：路地という名の示すとおり、みゆき通りにある3層程度の店舗の街並を読み取り、建物を3棟に分割して広場を持つ路地を形成した。さらに同時に計画が行われている近隣建物とも、建築デザイン、広場、共有道路の構想を共有し、そのありかたについてのコラボレーションを行った。

敷地を越えて、都市環境を複数の建物で創り出すこの試みが、一棟の個性を主張する時代から、回遊性のある街並としての価値を追求する時代への分岐点になれば幸いである。

鳥居 健一



## YAMANASHIGAKUIN SYDNEY MEMORIAL SWIMMING POOL

山梨学院シドニー記念水泳場(構造)

### 建物概要

山梨学院大学は甲府市の郊外に南アルプスの山々を望むのがやかなキャンパスを有しており、本建物は本学からのオリンピック初出場選手を記念して建てられた屋内水泳場である。

### 形態と架構

外観を特徴づける屋根形状は、富士山をはじめとする周囲の山並みに向かって飛躍するような躍動感あふれるカテナリー型が設定された。

このような建築条件に対して、屋根架構には梁とストリングが共にサグを有する張弦梁（サスペンション型張弦梁）を吊り材に採用した一方吊り屋根を提案した。

吊り材の境界条件は自重時に単純支持として自碇させ、その後両端ピン支持として付加荷重時のみ支点に水平反力が生じるしくみとしている。これにより自重及び付加荷重による下部構造への負荷を大幅に低減させ、建物全体として経済的かつ快感ある空間を実現している。

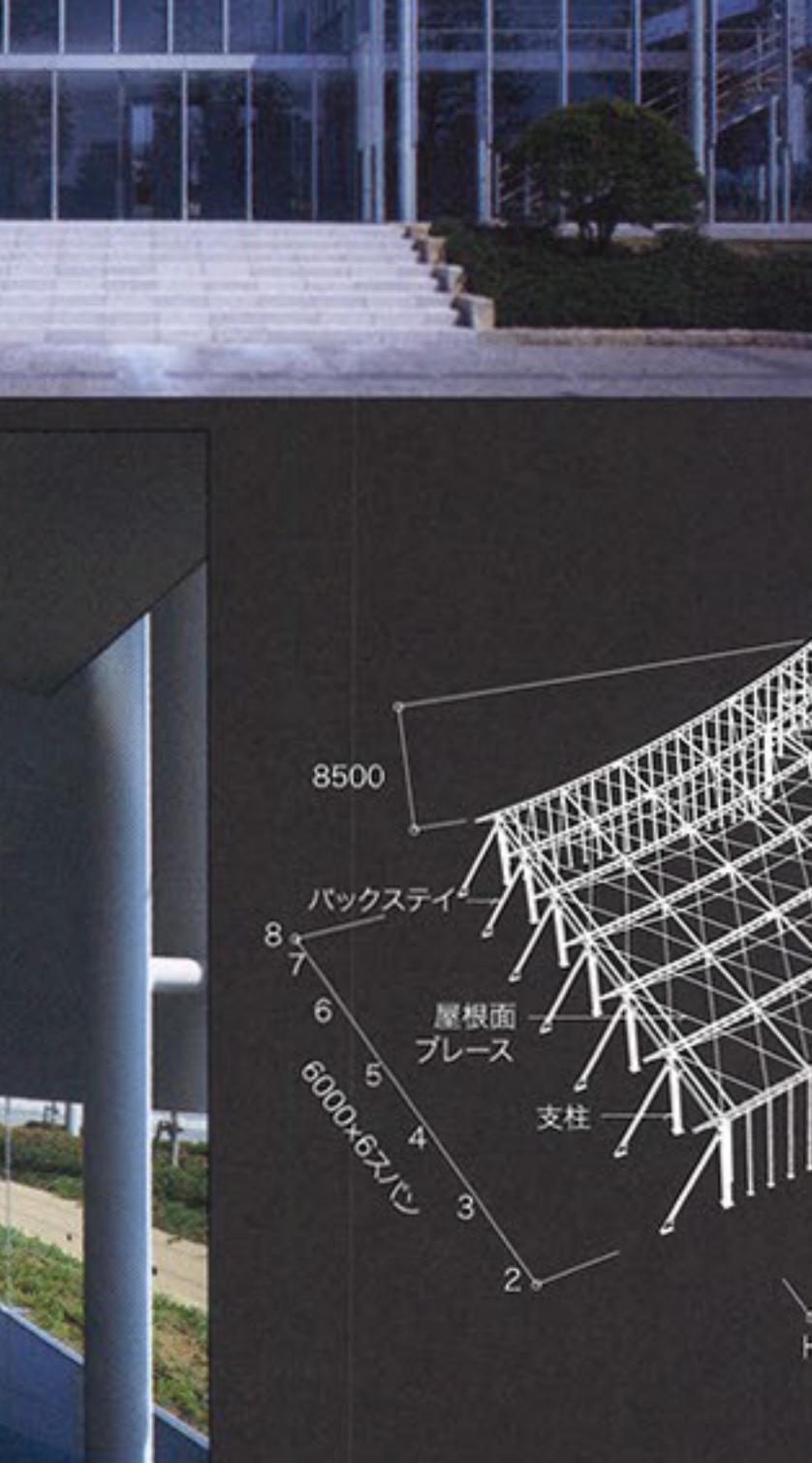
### 構造コンセプト

吊り屋根の実例の多くにはカウンターウェイトの設置や強固な下部構造の構築など美しいフォルムの裏側に複雑なしきかが存在する。

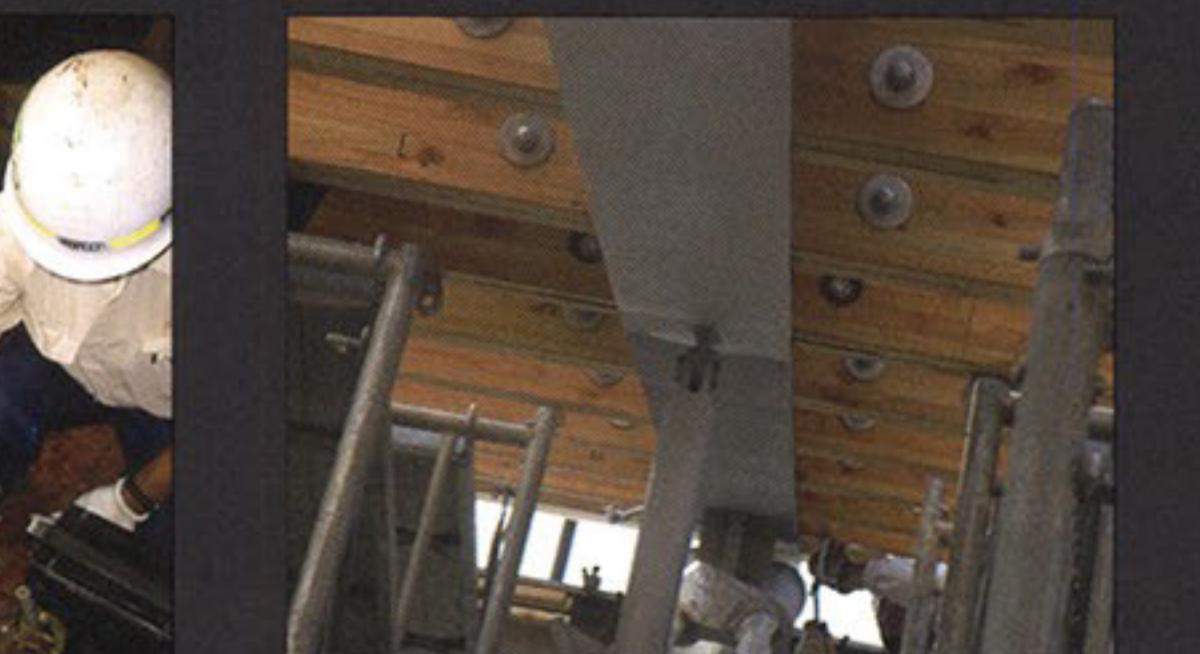
本構造システムのねらいは、デザイン自由度の向上（設計荷重の低減）、環境負荷の低減（躯体数量の削減）、経済性の向上（工費・工期の削減）であり、張弦梁の吊り構造への展開により新たな建築空間の実現を目指すものである。

山梨県建築文化賞（一般建築部門）  
東京建築賞 第31回建築作品コンクール 最優秀賞  
第37回SDA賞 準優秀賞  
JCDデザイン賞入選（文化・公共施設部門）  
第17回JSCA賞新人賞

佐藤 起司



鉄骨構造ベース



### 構造デザインのおもしろさ

「形（意匠）と力（構造）は、立場を違えながらいつも同じ空間に同居している。  
「形」は「力」に正直で、「力」は「形」に嘘をつけない。

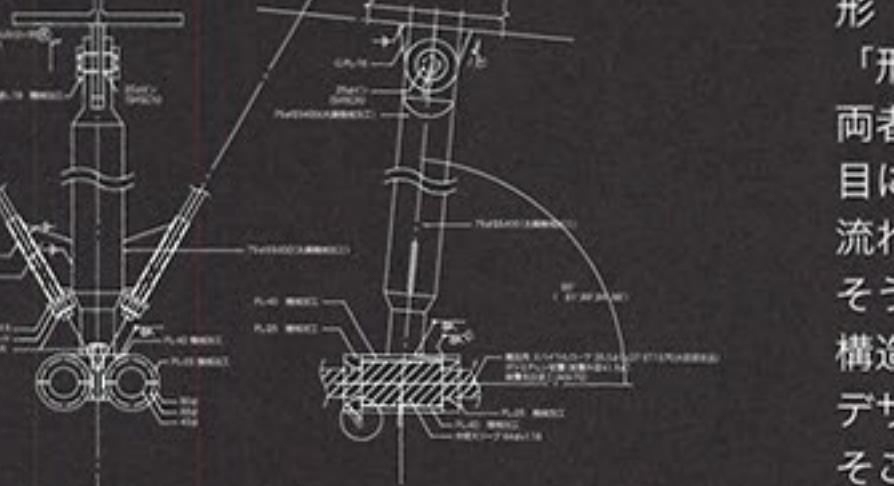
両者には、どこか初々しくも清々しい、純粋な関係がある。

目に見える「形」と、見えぬ「力」。私たち構造設計者は、日々目に見えぬ「力」の流れをデザインし、目に見える「形（造形、構法、ディテールなど）」へと具現化する。そうしてデザインされた「形」には理由があり、必然性があり、不思議と迫力がある。

構造デザインでは、造形、力学、構法、工法、材料、ディテールなど、

デザインする素材は多岐にわたる。

そこには自ら建築というパズルを作り、解くことを楽しむ創造的な世界がある。



## TOKYO KENSETSU CONSULTANTS HEAD OFFICE

東京建設コンサルタント本社ビル(構造)

### ■免震+プレストレス格子梁 +RCコアウォール+構造体PCa

構造計画は「免震構造の採用、完全無柱オフィスの実現、構造合理性を伴った建築表現」の方針により行った。1階と2階の間に免震層を配置して、1階を土木的スケールの厚さのRC壁、2階以上をプレストレスト格子梁+RCコアウォール+外装PCa構造体により構成し、最大14mスパンの完全無柱オフィス空間を実現した。中間階免震として執務室を隣接する山手線よりも上に配置して快適なオフィス空間を実現するとともに、根切り底を上げて既設建物基礎をラップルコンクリートとして利用した。免震層は建物内部側に免震装置を集約配置することで、平均面圧を高めて長期化をはかり、耐震安全性を向上させた。

### ■応力分布に基づくファサードデザイン

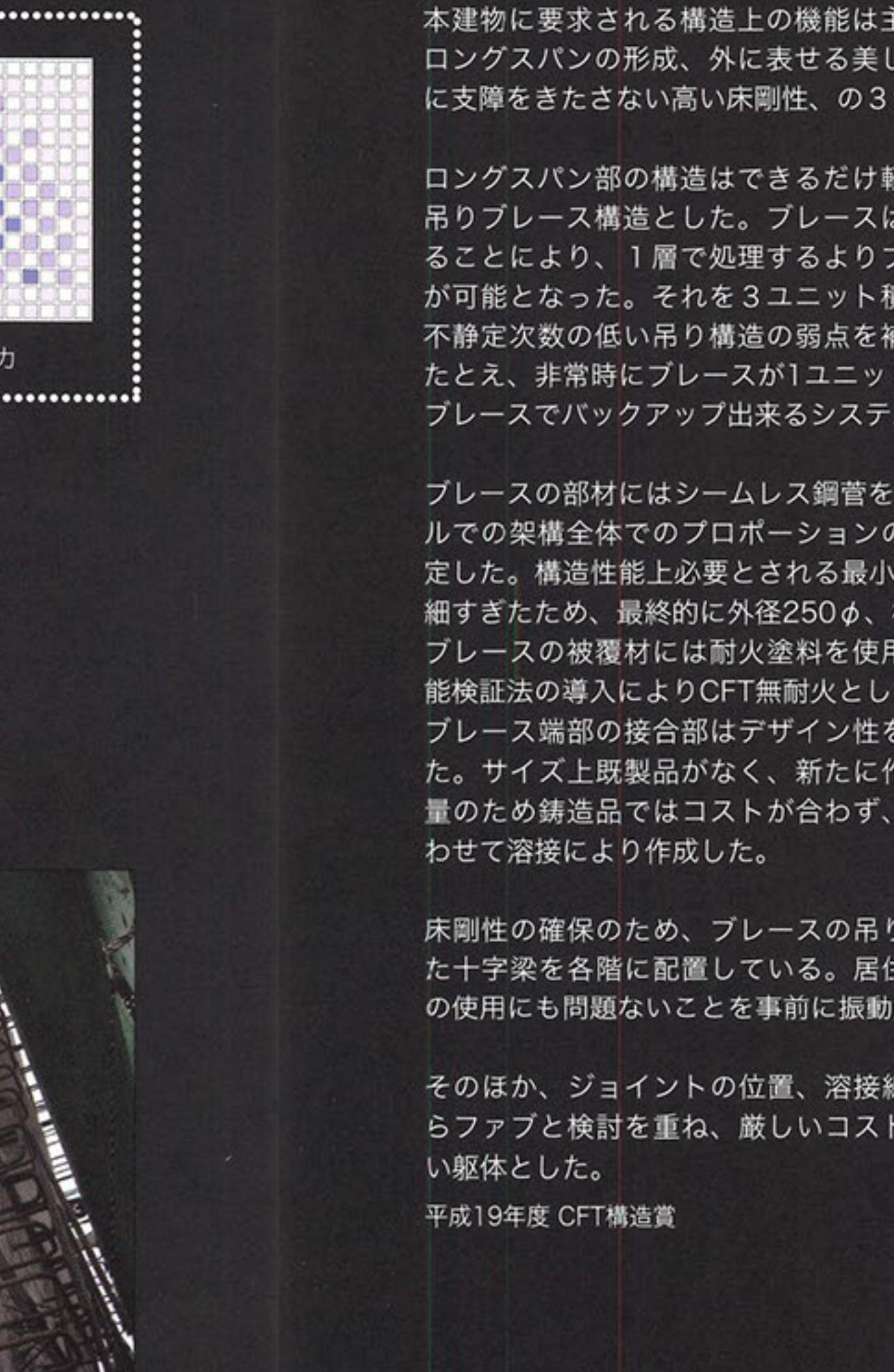
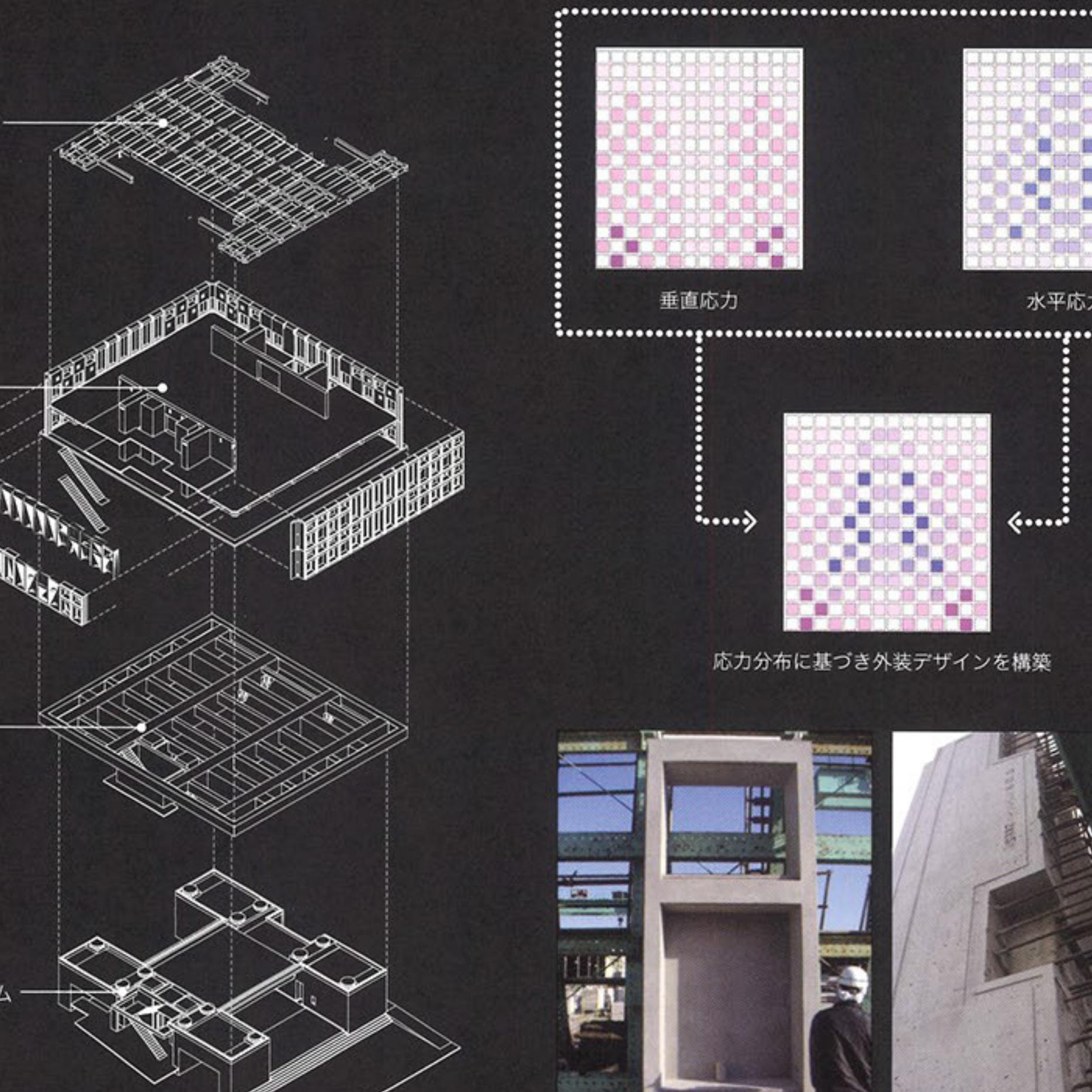
耐震壁として利用する外装PCa板の配置は鉛直及び地震時の応力分布に基づき決定し、構造合理性を伴った建築表現を追求した。大地震時においても外装PCa板は弾性範囲内に留まり外装機能を維持される、免震化により可能となった建築表現である。

### ■既存躯体利用

既存底盤をラップルコンクリートの一部として利用し、また既存地下外壁を山留として仮設利用することで産業廃棄物の低減、環境への配慮を行った。

第2回日本構造デザイン賞  
第8回日本免震構造協会賞 作品賞

小松 元彦



## PARAMOUNT BED TECHNICAL CENTER

パラマウントベッド テクニカルセンター(構造)

本建物に要求される構造上の機能は主に、ゲートを構築するロングスパンの形成、外に表せる美しい構造体、実験計測等に支障をきたさない高い床剛性、の3つであった。

ロングスパン部の構造はできるだけ軽やかに見せるために、吊りプレース構造とした。プレースは2層分の高さを活用することにより、1層で処理するよりプレースを細くすることが可能となった。それを3ユニット積み重ねることにより、不静定次数の低い吊り構造の弱点を補う構造となっており、たとえ、非常にプレースが1ユニット壊れたとしても、他のプレースでバックアップ出来るシステムとした。

プレースの部材にはシームレス鋼管を用い、その径は3Dモデルでの架構全体でのプロポーションの検討によりサイズを決定した。構造性能上必要とされる最小径(200φ)では見た目が細すぎたため、最終的に外径250φ、板厚は36mmとした。プレースの被覆材には耐火塗料を使用している。柱は耐火性能検証法の導入によりCFT無耐火とした。

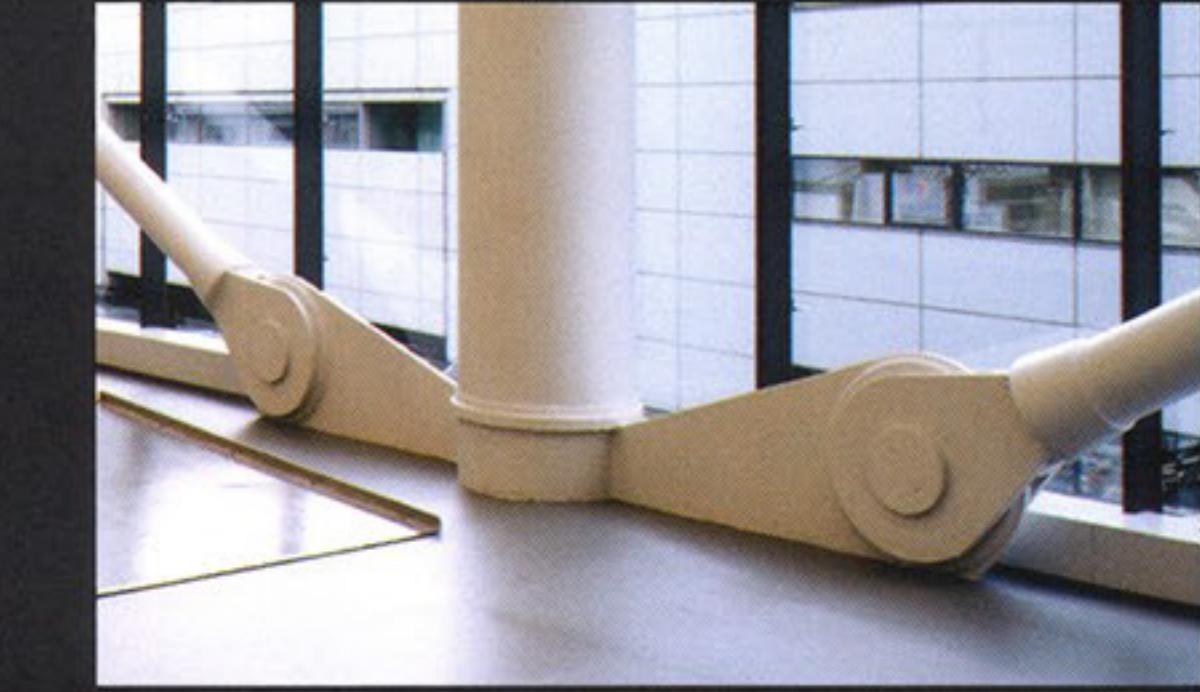
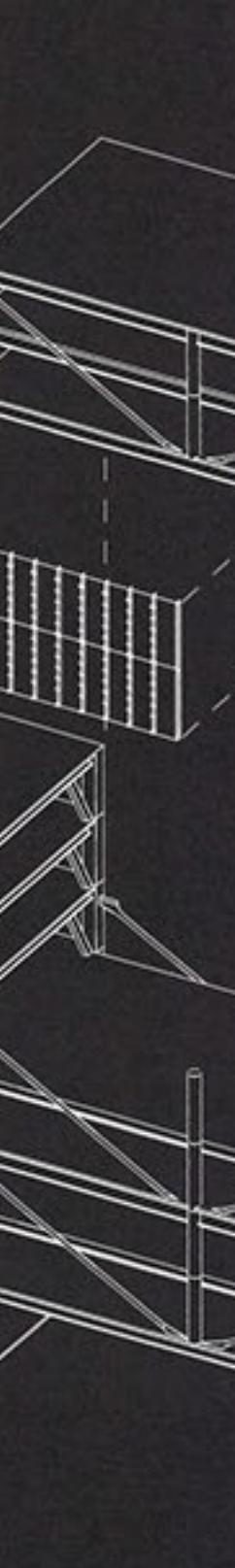
プレース端部の接合部はデザイン性を考慮してクレピスとした。サイズ上既製品がなく、新たに作ることになったが、少量のため铸造品ではコストが合わず、板材と切削材を組み合わせて溶接により作成した。

床剛性の確保のため、プレースの吊り点とコア部に支持された十字梁を各階に配置している。居住性能および電子顕微鏡の使用にも問題ないことを事前に振動解析により検証した。

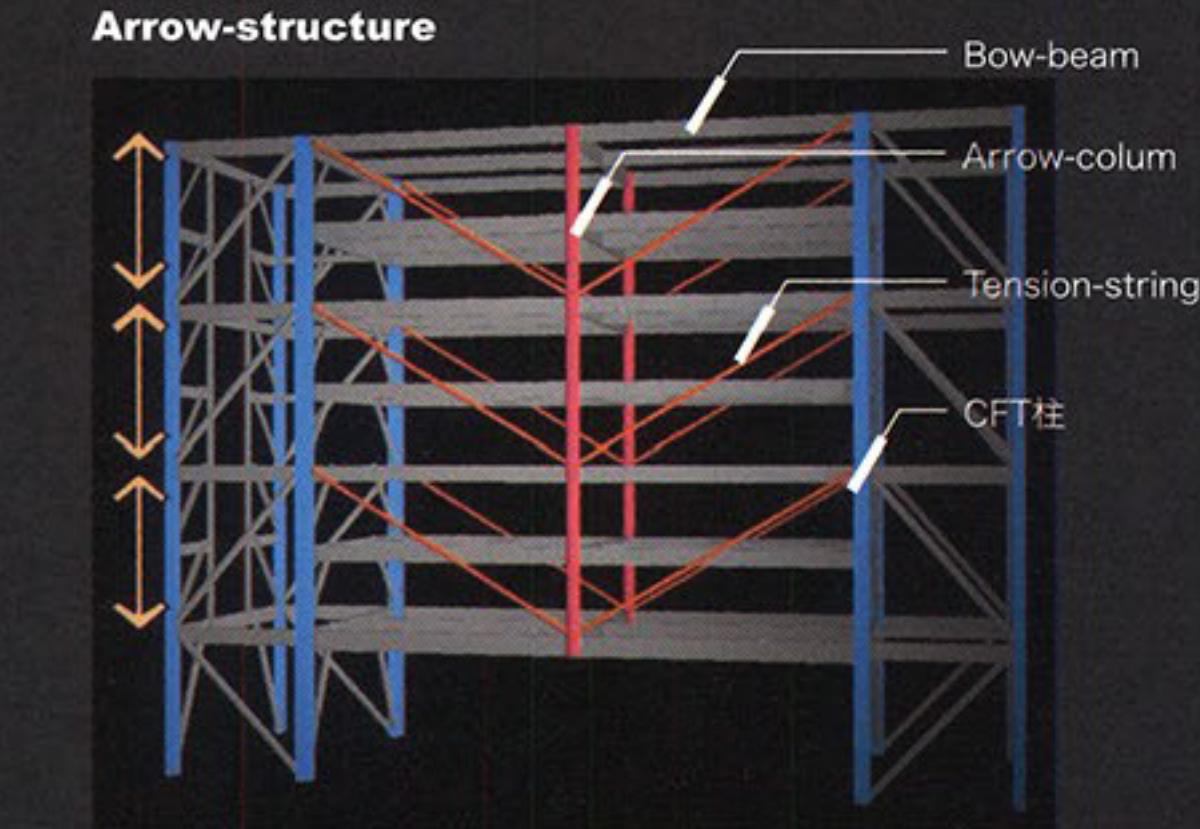
そのほか、ジョイントの位置、溶接線の見え方などを早期からファブと検討を重ね、厳しいコストの中で出来る限り美しい躯体とした。

平成19年度 CFT構造賞

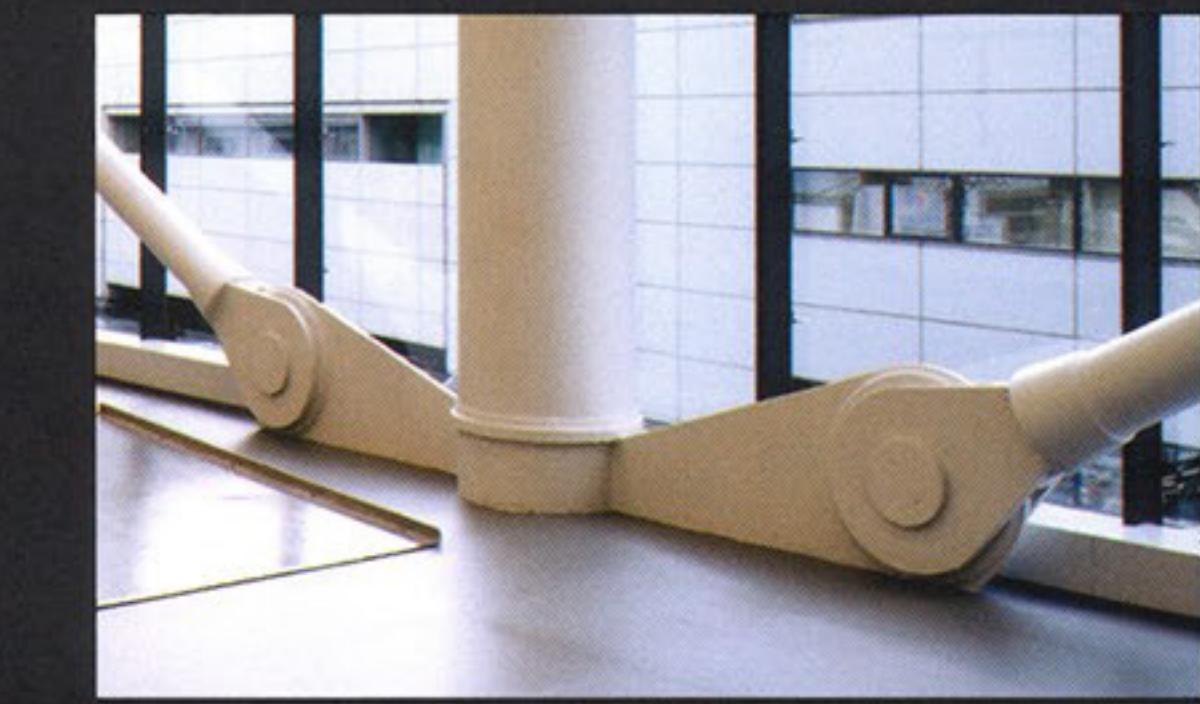
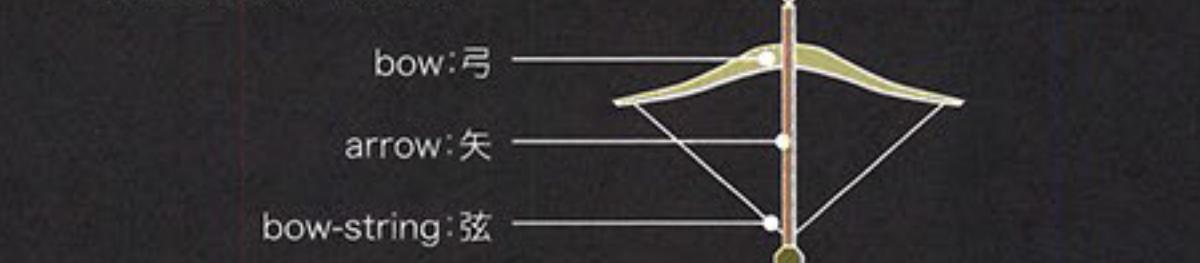
市川 治



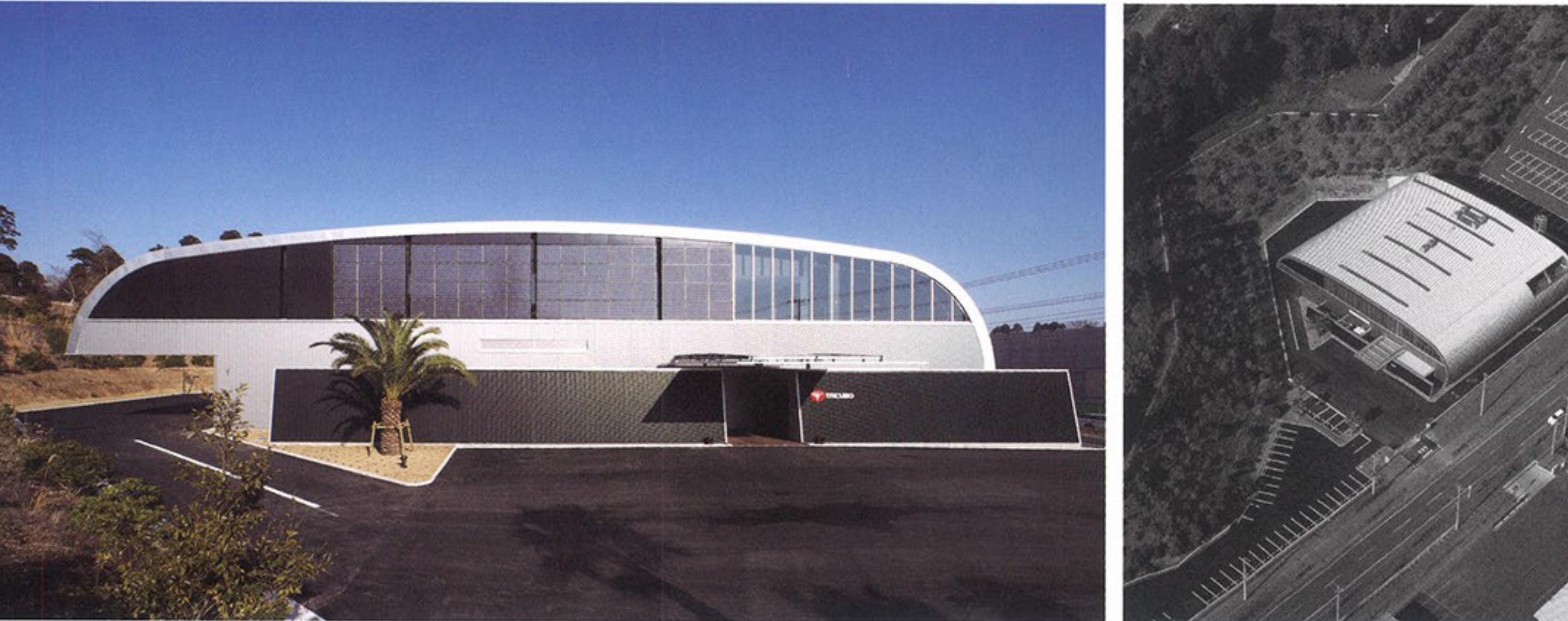
### Arrow-structure



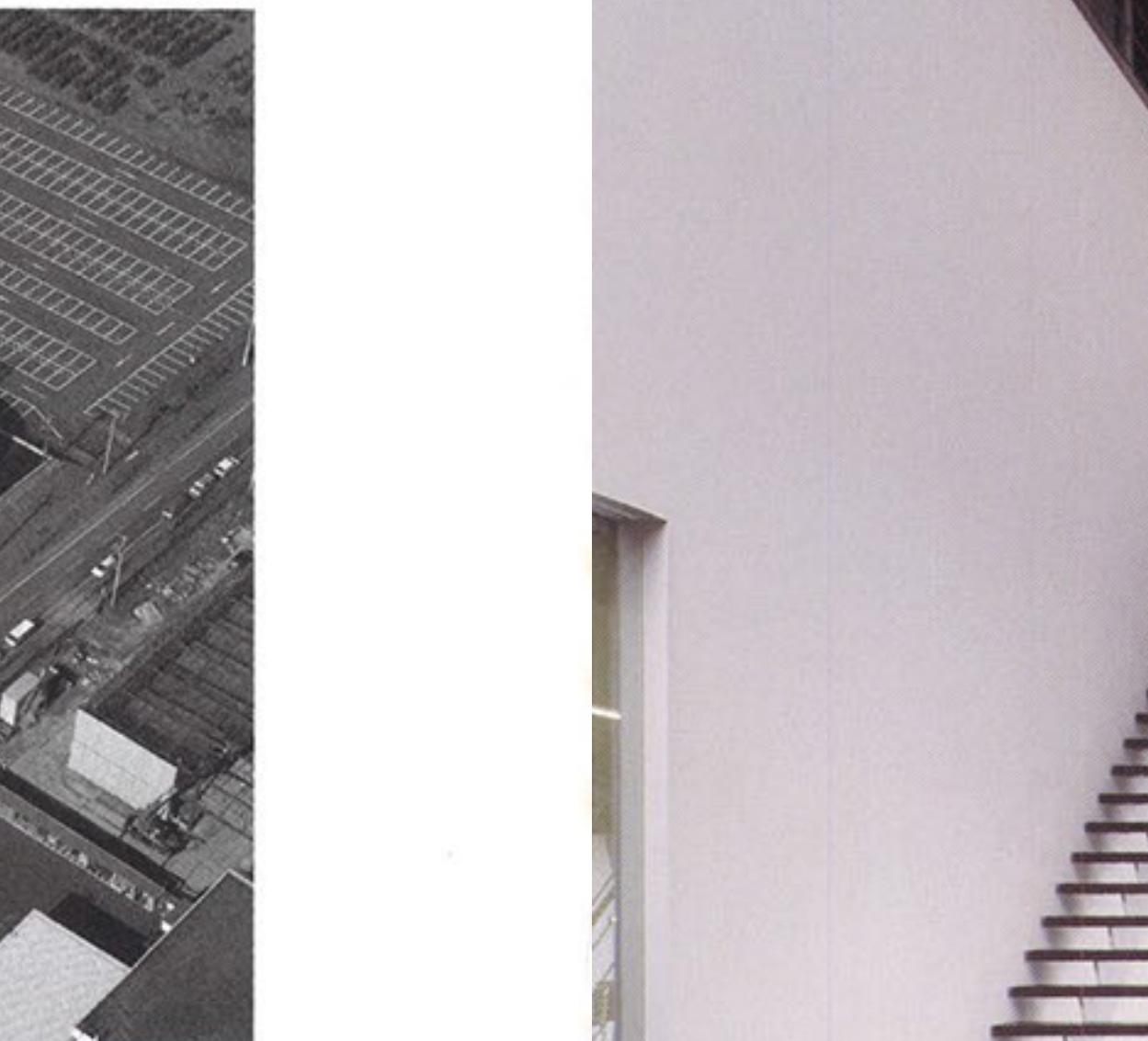
### Structure - Motif



**TAKUBO TOGANE  
TECHNICAL CENTER**  
タクボエンジニアリング株式会社  
東金テクニカルセンター



38  
vol.67

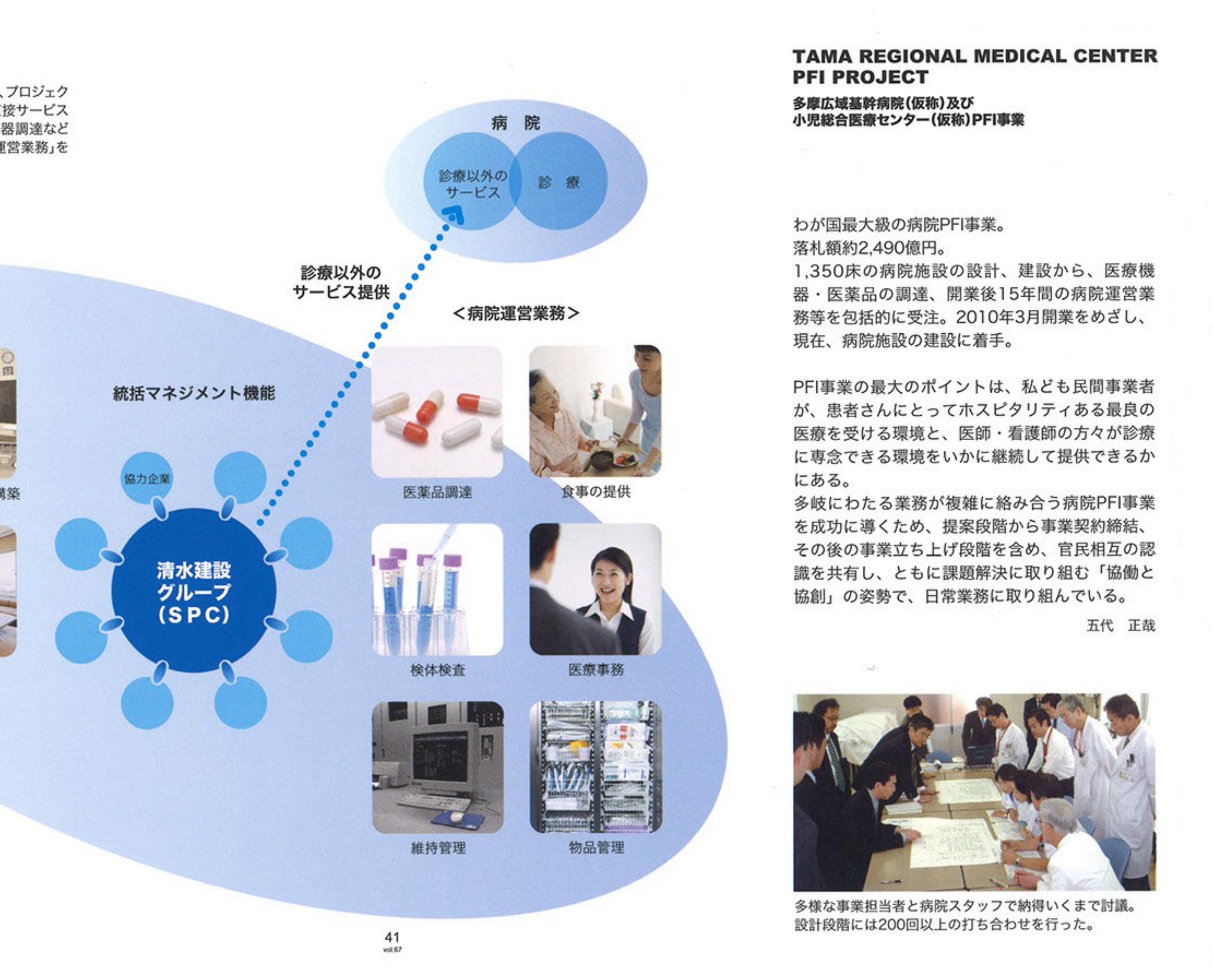


39  
vol.67



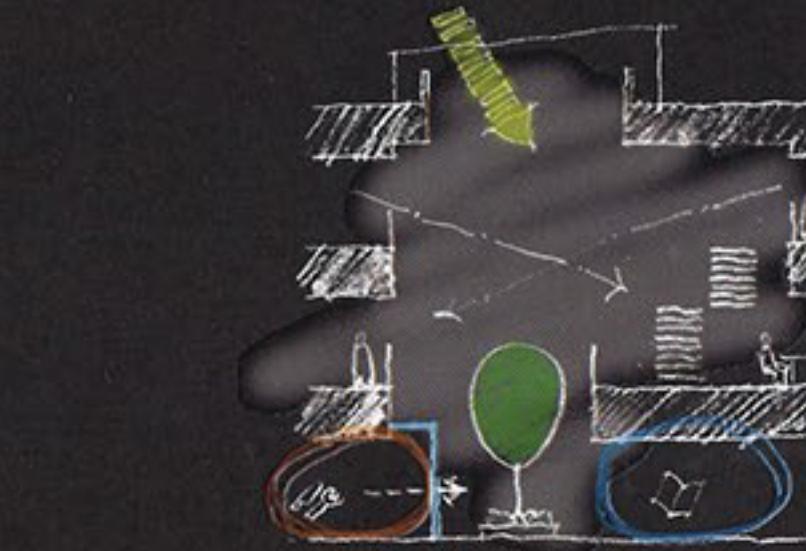
産業用塗装システムの開発・販売を行うメーカーのテクニカルセンター。  
企業姿勢をアピールするよう、環境負荷への取り組みを具現化する建物のデザインが求められた。  
具体的には表面積の少ない円形断面による温熱負荷の低減、自然換気/通風の利用、太陽光パネルの設置等を行っている。  
建物中央に吹抜けを配し、上階の開発・営業事務室と、下階の生産部門が一体となれる空間構成とした。  
また、エントランスホールの天井ルーバーには地元産の山武杉の間伐材を使用し、屋根形状と相まって柔らかな雰囲気をつくりあげている。

第20回日経ニューオフィス賞 推進賞 大橋 一智



42  
vol.6743  
vol.67

TOYOTA AUTO BODY  
NEW LABORATORY  
トヨタ車体株式会社 実験場 増設工事

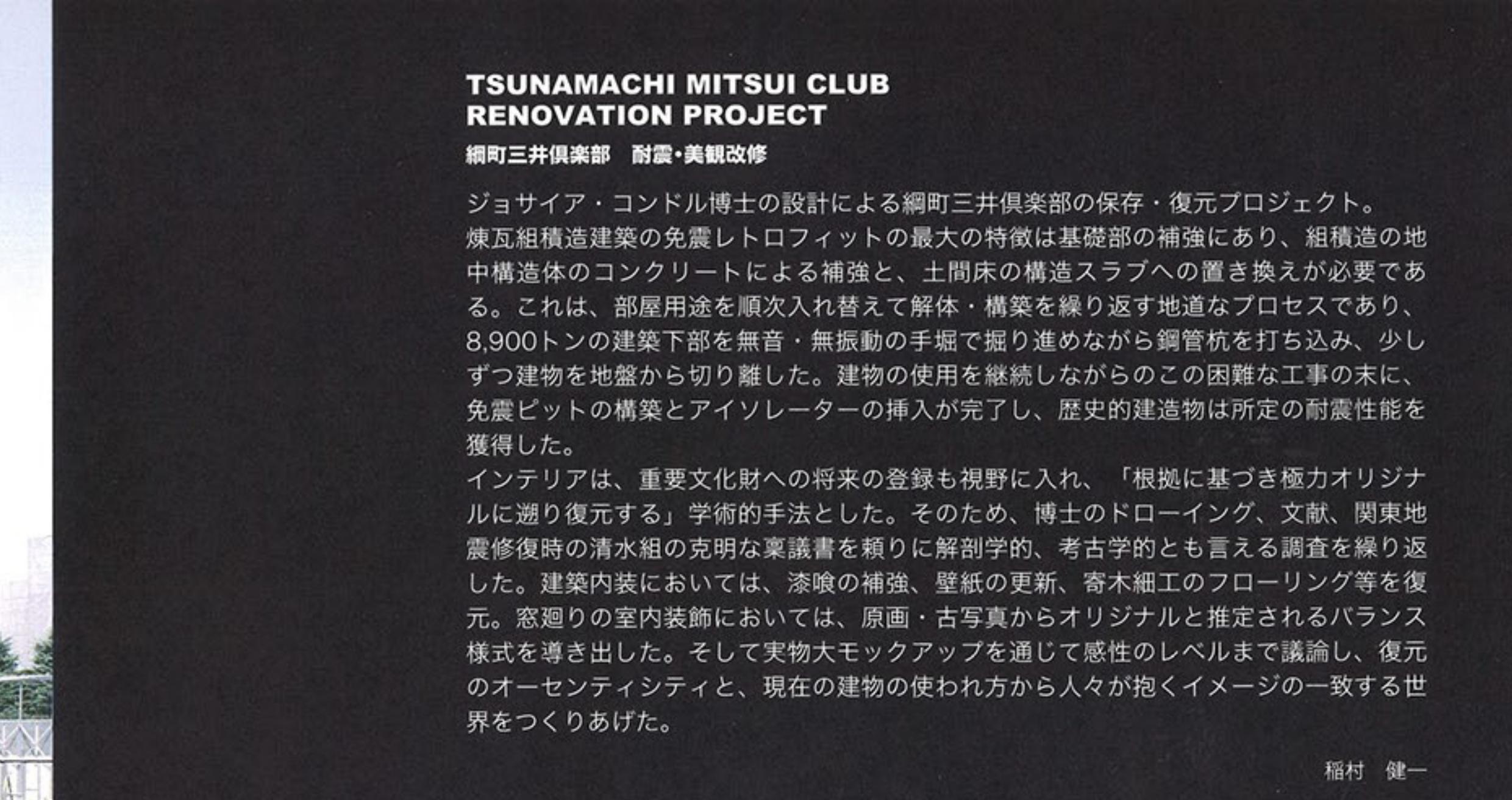
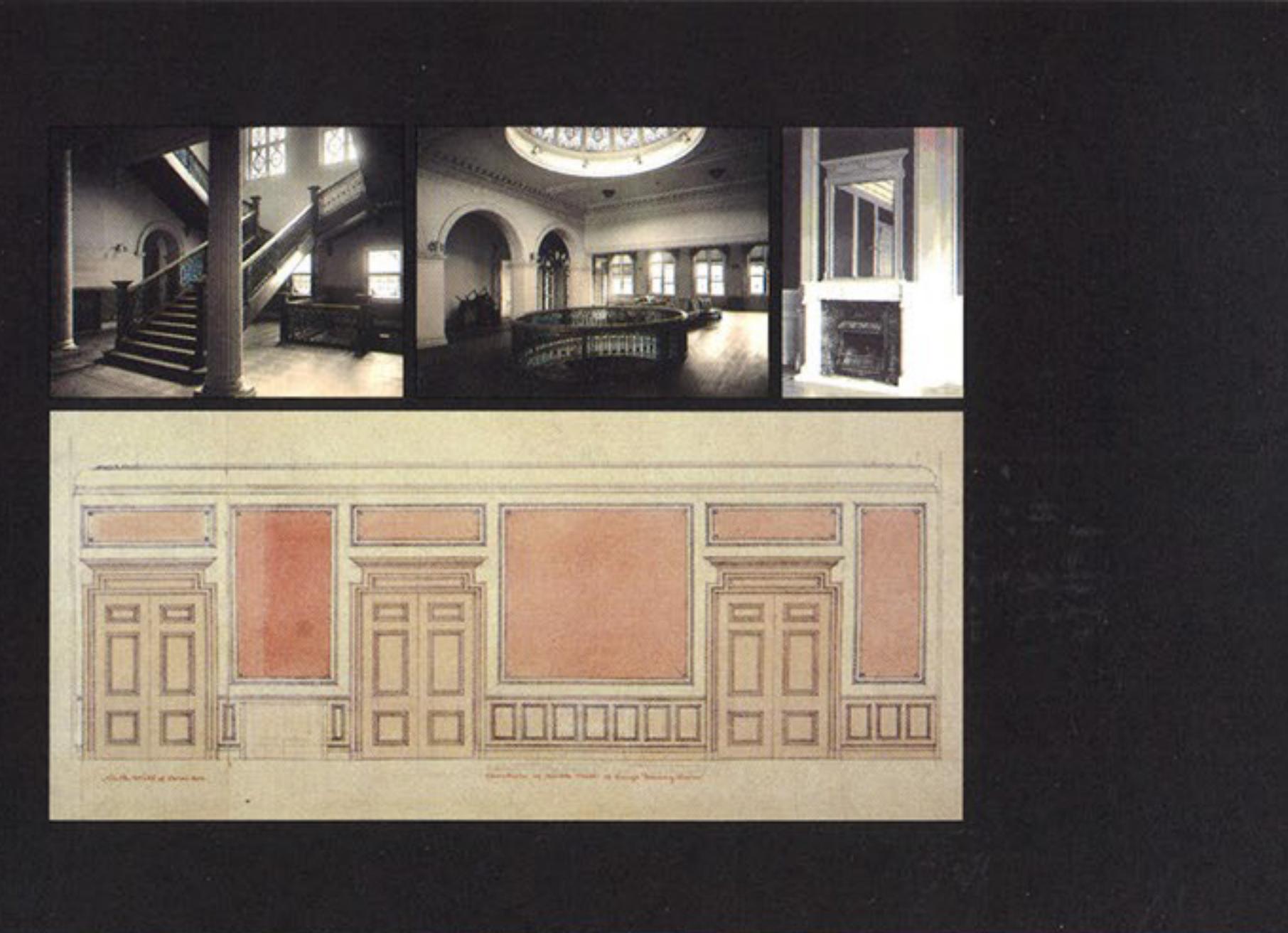


開発のスピードアップと、開発・生産のコラボレーションの向上を追求した車両開発センター。

中央に位置する吹抜は、様々な専門性や特殊性を備えた車両開発のエキスパート達をクロスオーバーさせ、幾多の創意・工夫によって生み出される二次創作、三次創作の泉として位置する。

集中を生み、交流を促がし、自然を感じることにより、創造の光がトップライトから降り注ぐ。

渡邊 純一



## TSUNAMACHI MITSUI CLUB RENOVATION PROJECT

綱町三井俱楽部 耐震・美観改修

ジョサイア・コンドル博士の設計による綱町三井俱楽部の保存・復元プロジェクト。煉瓦組積造建築の免震レトロフィットの最大の特徴は基礎部の補強にあり、組積造の中構造体のコンクリートによる補強と、土間床の構造スラブへの置き換えが必要である。これは、部屋用途を順次入れ替えて解体・構築を繰り返す地道なプロセスであり、8,900トンの建築下部を無音・無振動の手堀で掘り進めながら鋼管杭を打ち込み、少しづつ建物を地盤から切り離した。建物の使用を継続しながらこの困難な工事の末に、免震ピットの構築とアイソレーターの挿入が完了し、歴史的建造物は所定の耐震性能を獲得した。

インテリアは、重要文化財への将来の登録も視野に入れ、「根拠に基づき極力オリジナルに遡り復元する」学術的手法とした。そのため、博士のドローイング、文献、関東地震修復時の清水組の克明な稟議書を頼りに解剖学的、考古学的とも言える調査を繰り返した。建築内装においては、漆喰の補強、壁紙の更新、寄木細工のフローリング等を復元。窓廻りの室内装飾においては、原画・古写真からオリジナルと推定されるバランス様式を導き出した。そして実物大モックアップを通じて感性のレベルまで議論し、復元のオーセンティシティと、現在の建物の使われ方から人々が抱くイメージの一一致する世界をつくりあげた。

稻村 健一

46  
vol.6747  
vol.67

**WORLD CITY TOWERS**  
ワールドシティタワーズ



世界有数の経済都市東京。しかしその都市景観は世界有数とは言えるものではなく、まして眺望景観を資産とするワールドクラスのハイクラスレジデンシャルの供給も、いまだ模索の時代にある。このプロジェクトをワールドシティタワーズと命名し、都市と海と緑に囲まれた美しい眺望を活かしきることに徹底した事業者の姿勢に、その都市開発にたいする高い志が現れている。

建物は、中央に広い中庭を設けそれを取り囲むように板状型の棟配置とし、全住宅を外部環境へ向けて配置。各住戸内ではさらにそのコンセプトを追究し、床から天井までのカーテンウォールサッシュを随所に採用。その結果、居ながらにして都市と海への迫力ある眺望が得られる、従来ないガラスファサードの分譲住宅となった。スパンドレル部へのサッシ打込PC,PCF板、騒音シミュレーションによる性能設定検討により、住宅の基本性能である遮音性能も確保したことである。地表面では護岸と敷地を一体的に整備し、前面道路から水辺への視覚的な開放性・連続性のある親水空間を形成。ピロティにより容易に共用部へアクセスできるようにした。

将来は、今後整備予定の北側公園と中庭空間とが連続性もち、都市に対する新たなアメニティ性も獲得していく予定である。

吉田 博

編集長 坂井 和秀  
 副編集長 黒田 健一  
 小島 哲  
 鼻戸 隆志  
 編集委員 浅田 朋子  
 伊藤 伸司  
 稲毛 誠  
 櫻並 和人  
 加登 剛司  
 加藤 均  
 河原崎澄子  
 清成 心  
 國立 篤志  
 古株 友徳  
 佐伯 先史  
 阪根 和彦  
 佐野 純子  
 重村 卓  
 信藤順一郎  
 鈴木 邦典  
 高橋 千里  
 中村 徹  
 平賀 直樹  
 湊 敦  
 安廣 賢哉

事務局 吉田 郁夫  
 発行日 2007年11月  
 編集・発行 清水建設株式会社  
 /設計・プロポーザル統括  
 〒105-8007 港区芝浦1-2-3  
 03-5441-1111(代)  
 設計・プロポーザル統括

編集事務局 企画管理部  
 印刷所 (株)ビーディーシステム  
 年2回発行予定  
 次号予定 LCV・BCP・地球環境特集、近作プロジェクト  
 Stream D.E.W.  
 非売品



**九段第3合同庁舎・千代田区役所本庁舎<sup>4</sup>**  
 発注者：国土交通省関東地方整備局・千代田区  
 事業者：九段PFIサービス株式会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：4,258.50m<sup>2</sup>  
 建築面積：2,562.64m<sup>2</sup>  
 延床面積：59,831.65m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(柱:コンクリート充填鋼管柱)  
 規模：地下3階・地上23階・塔屋1階  
 竣工年：2007年  
 所在地：東京都千代田区九段南1-2-1



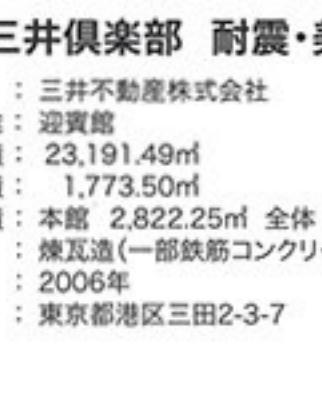
**ホテル ユニバーサルサポート<sup>2</sup>**  
 建築主：有限会社ユニバーサルリゾーツ  
 主要用途：宿泊施設  
 敷地面積：8,000.26m<sup>2</sup>  
 建築面積：4,800.96m<sup>2</sup>  
 延床面積：40,653.22m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)  
 規模：地下1階・地上15階・塔屋1階  
 竣工年：2005年  
 所在地：大阪府大阪市此花区桜島1-1-111



**学校法人仁川学院  
50周年記念学院施設整備計画<sup>2</sup>**  
 建築主：ROUND HILL CAPITAL PARTNERS  
 主要用途：学校  
 敷地面積：北校地 26,219.56m<sup>2</sup>・南校地 9,760.69m<sup>2</sup>  
 建築面積：AB-wing: 431.11m<sup>2</sup> C-wing: 262.36m<sup>2</sup>  
 延床面積：I期工事(2,942m<sup>2</sup>)・II期工事(2,045m<sup>2</sup>)  
 延床面積：I期工事(8,279m<sup>2</sup>)・II期工事(5,264m<sup>2</sup>)  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：地下2階・地上3階  
 竣工年：2005年  
 所在地：兵庫県西宮市甲東園2-13-9



**RUELLE青山<sup>4</sup>**  
 建築主：三井不動産株式会社  
 主要用途：迎賓館  
 敷地面積：23,191.49m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,773.50m<sup>2</sup>  
 延床面積：AB-wing: 1,286.03m<sup>2</sup> C-wing: 660.69m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：地下2階・地上3階  
 竣工年：2005年  
 所在地：東京都港区南青山4-21-26



**綱町三井俱楽部 耐震・美觀改修<sup>2</sup>**  
 建築主：三井不動産株式会社  
 主要用途：迎賓館  
 敷地面積：23,191.49m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,773.50m<sup>2</sup>  
 延床面積：AB-wing: 1,286.03m<sup>2</sup> C-wing: 660.69m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：地下2階・地上3階  
 竣工年：2005年  
 所在地：東京都港区南青山4-21-26



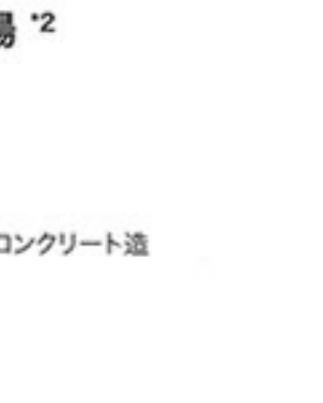
**東京建設コンサルタント本社ビル<sup>2</sup>**  
 建築主：株式会社東京建設コンサルタント  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：1,322.14m<sup>2</sup>  
 建築面積：868.43m<sup>2</sup>  
 延床面積：5,980.28m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造(中間階免震構造)  
 規模：地下1階・地上7階・塔屋1階  
 竣工年：2006年  
 所在地：東京都豊島区北大塚1-15-6



**ハイアットリージェンシー・ヨガジャカルタ<sup>4</sup>**  
 建築主：PT. Antelope Maju  
 主要用途：リゾートホテル  
 敷地面積：241,168m<sup>2</sup>  
 (ホテル部分: 70,163m<sup>2</sup>・ミニゴルフコース: 171,005m<sup>2</sup>)  
 建築面積：7,080m<sup>2</sup>  
 延床面積：23,877m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)  
 規模：地上7階・塔屋1階  
 竣工年：1997年  
 所在地：Jl.Palagan Tentara Pelajar, Yogyakarta, Indonesia



**日本女子大学 新泉山館<sup>2</sup>**  
 建築主：学校法人日本女子大学  
 主要用途：学校  
 敷地面積：1,181.138m<sup>2</sup>  
 建築面積：917.24m<sup>2</sup>  
 延床面積：4,350.57m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)  
 規模：地下1階・地上8階・塔屋1階  
 竣工年：2004年  
 所在地：東京都文京区自白台2-8-1



**山梨学院シドニー記念水泳場<sup>2</sup>**  
 建築主：学校法人山梨学院  
 主要用途：プール  
 敷地面積：5,745.18m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,439.30m<sup>2</sup>  
 延床面積：2,151.98m<sup>2</sup>  
 構造：屋根:鉄骨造・木造 下部:鉄筋コンクリート造  
 規模：地下1階・地上2階  
 竣工年：2003年  
 所在地：山梨県甲府市酒折2-4-5



**ワールドシティタワーズ<sup>4</sup>**  
 建築主：住友不動産株式会社  
 主要用途：集合住宅・店舗  
 敷地面積：24,316.38m<sup>2</sup>  
 建築面積：10,520.33m<sup>2</sup>  
 延床面積：291,272.35m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)  
 規模：地下2階・地上42階・塔屋1階  
 竣工年：2007年  
 所在地：東京都港区港南4-6



**キャツツシアター<sup>1</sup>**  
 建築主：四季株式会社  
 主要用途：劇場  
 敷地面積：3,343.51m<sup>2</sup>  
 建築面積：2,505.82m<sup>2</sup>  
 延床面積：3,525.35m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2004年  
 所在地：東京都品川区五反田2-18



**くじらホスピタル<sup>2</sup>**  
 建築主：医療法人青流会  
 主要用途：病院  
 敷地面積：3,025m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,475m<sup>2</sup>  
 延床面積：5,067m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：地上5階  
 竣工年：2006年  
 所在地：東京都江東区枝川3-8-25



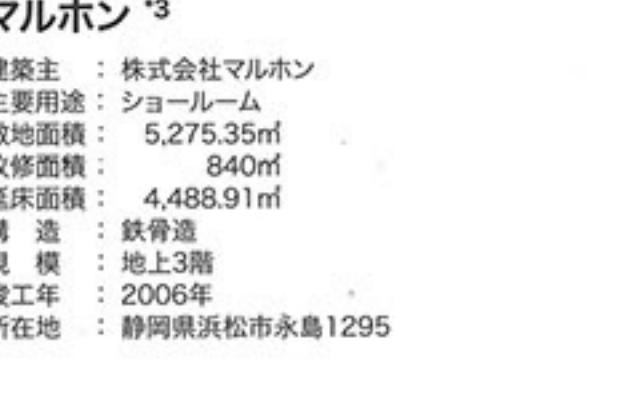
**株式会社オバラ本社棟<sup>2</sup>**  
 建築主：株式会社オバラ  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：88,890.00m<sup>2</sup>  
 建築面積：1,027.92m<sup>2</sup>  
 延床面積：2,665.42m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造  
 規模：地上5階・塔屋1階  
 竣工年：2007年  
 所在地：神奈川県相模原市小山1-15-30



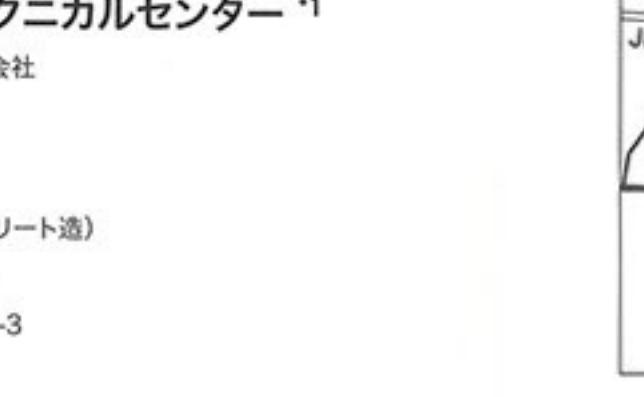
**タクボエンジニアリング株式会社  
東金テクニカルセンター<sup>1</sup>**  
 建築主：タクボエンジニアリング株式会社  
 主要用途：研究所・工場  
 敷地面積：12,067.79m<sup>2</sup>  
 建築面積：2,475.24m<sup>2</sup>  
 延床面積：4,143.18m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2006年  
 所在地：千葉県東金市丘山台2-7



**噴火湾パノラマパーク パノラマ館<sup>4</sup>**  
 建築主：噴火湾パノラマパークPFI株式会社  
 主要用途：ビジターセンター  
 敷地面積：33,937.30m<sup>2</sup>  
 建築面積：2,019.32m<sup>2</sup>  
 延床面積：2,035.45m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2006年  
 所在地：北海道二海郡八雲町浜松368-8 噴火湾パノラマパーク内



**マルホン<sup>3</sup>**  
 建築主：株式会社マルホン  
 主要用途：ショールーム  
 敷地面積：5,275.35m<sup>2</sup>  
 建築面積：840m<sup>2</sup>  
 改修面積：840m<sup>2</sup>  
 延床面積：4,488.91m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造  
 規模：地上3階  
 竣工年：2006年  
 所在地：静岡県浜松市永島1295



**パラマウントベッド テクニカルセンター<sup>1</sup>**  
 建築主：パラマウントベッド株式会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：1,095.94m<sup>2</sup>  
 建築面積：789.76m<sup>2</sup>  
 延床面積：5,089.29m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)  
 規模：地上7階  
 竣工年：2006年  
 所在地：東京都江東区東砂2-14-3



**多摩広域基幹病院(仮称)及び  
小児総合医療センター(仮称)PFI事業<sup>4</sup>**  
 設計:清水建設・佐藤総合計画・風コンサル設計共同企業体  
 インテリア:フィールドフォー・デザインオフィス  
 噴火湾パノラマパーク パノラマ館  
 設計:清水建設 + アトリエアク  
 ハイアットリージェンシー・ヨガジャカルタ  
 設計:SC&L(清水建設設計本部ジャカルタ現地設計法人(当時))  
 インテリア:Hirsch Bedner Associates  
 ランドスケープ: Tongg Clarke & McCelvey  
 施工:PT. Decorient Indonesia  
**RUELLE青山**  
 設計:清水建設  
 基本構想:田部建築研究室



**トヨタ車体株式会社 実験場 増設工事<sup>2</sup>**  
 建築主：トヨタ車体株式会社  
 主要用途：実験場・事務所  
 敷地面積：422,054.32m<sup>2</sup>  
 建築面積：3,783.83m<sup>2</sup>  
 延床面積：18,718.43m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造  
 規模：地上3階  
 竣工年：2007年  
 所在地：愛知県刈谷市一里山町金山100



**北稜別館<sup>2</sup>**  
 建築主：北國新聞社  
 主要用途：保養所  
 敷地面積：2,009.90m<sup>2</sup>  
 建築面積：400.97m<sup>2</sup>  
 延床面積：557.41m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：地上2階  
 竣工年：2005年  
 所在地：石川県加賀市新保町ヤ74番-61、62



**三田Avanti<sup>1</sup>**  
 建築主：第一生命相互会社  
 主要用途：事務所  
 敷地面積：2,339.26m<sup>2</sup>  
 建築面積：2,015.76m<sup>2</sup>  
 延床面積：16,614.51m<sup>2</sup>  
 構造：鉄骨造(CFT柱)・地下:鉄筋鉄骨コンクリート造  
 規模：地下1階・地上8階・塔屋1階  
 竣工年：2005年  
 所在地：東京都港区三田3-11-28



**プレミアガーデン本郷<sup>1</sup>**  
 建築主：野村土地建物株式会社  
 主要用途：実験場・事務所  
 敷地面積：1,937.25m<sup>2</sup>  
 建築面積：930.93m<sup>2</sup>  
 延床面積：1,876.23m<sup>2</sup>  
 構造：鉄筋コンクリート造  
 規模：鉄骨造  
 竣工年：2002年  
 所在地：東京都文京区向丘1-14-2



**RUELLE青山<sup>4</sup>**  
 設計:清水建設  
 基本構想:田部建築研究室  
 多摩広域基幹病院(仮称)及び小児総合医療センター(仮称)PFI事業  
 設計監理:株式会社日建設計  
 設計協力:清水建設  
**ワールドシティタワーズ**  
 企画・基本設計:株式会社日建設計  
 基本・実施設計・監理:清水建設  
 インテリア:フィールドフォー・デザインオフィス  
 ランドスケープ:黒コンサルタント株環境デザイン研究所  
 ライティングデザイン:ライティング・プランナーズ・アソシエーツ

